



MINATO CITY



TAKANAWA REGION

地域の輪が創り出す安全・安心なまち
～変化するまちとともに～

港区基本計画 高輪地区版計画書

令和3(2021)年度 ▶ 令和8(2026)年度

令和5(2023)年度改定版

MINATO CITY MASTER PLAN
TAKANAWA REGIONAL MASTER PLAN



アフターコロナの新時代に向けて、 区民とともにまちを元気にする

区民に最も身近な行政である各地区総合支所は、区民、企業、大学、NPO、大使館など多様な主体と一丸となって、地域の課題解決や魅力向上に取り組んできました。

本地区版計画書は、地域が将来に向かってさらに発展していくための目標や取組を明らかにするものです。改定に当たっては、各地域の特性や区を取り巻く状況の変化を踏まえながら、区民意識調査や区民参画組織からの提言を通じて、地域の皆さんとともに課題解決の方策などの検討を進めてきました。

令和5(2023)年5月、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の2類相当から5類へ移行したことにより、法律に基づく患者への外出自粛要請がなくなり、感染対策は個人の判断に委ねられました。コロナ禍の収束が近づき、町会・自治会等の地域活動やお祭りなどの地域コミュニティ活動は以前の形に戻ってきており、人々のふれあいや交流の機会が増えています。

一方で、区内では核家族化が進行し、子育て世帯、高齢者世帯の社会的孤立を防ぐことが急務となっています。各地区では、地域の特性に応じて、子どもから高齢者まで地域の人同士がつながりを持ち続けられる施策を展開し、次代を担う子どもを地域全体で育み、地域の中で高齢者を見守る環境づくりを一層推進します。

アフターコロナの社会に向けて、大きく変化している社会経済情勢に的確に対応し、区政を着実に推進していくために、区民とともにコロナ禍後の港区の姿を思い描きながら各地区の地区版計画書の改定を行い、明るい未来への道筋を示しました。

各地区総合支所は、改定を経た本計画書を区政の新たな道しるべとし、区民の健康と安全を守ることを最優先に、子どもが社会の一員として地域の人々に大切に育まれるまち、子どもから若者、子育て世代、高齢者までのあらゆる世代が住み続けられるまちをめざし、区民とともに描いたまちの姿を実現していきます。

令和6(2024)年1月



港 区 長

武井雅昭



「地域の輪が創り出す安全・安心なまち」の実現をめざして

高輪地区総合支所長 白井 隆司

ご挨拶

高輪地区は、起伏に富んだ地形の中に、豊かな緑や神社仏閣をはじめとした多くの歴史的な建物や史跡が残されている地域です。一方で、高輪ゲートウェイ駅周辺をはじめとする大規模な再開発やリニア中央新幹線駅の整備などが計画されており、まちが大きく変化しつつあります。

また、区内5地区で最も人口が多く、様々な地域コミュニティ活動が活発に行われている地域でもあります。令和5(2023)年5月に、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行したことに伴い、地域でも、お祭りをはじめとしたコミュニティ活動が再開するなど、まちのにぎわいが戻ってきています。

このような状況を踏まえ、高輪地区総合支所は、アフターコロナの新時代に向け、歴史あるまちと変化していくまちの融合を図りながら、地域コミュニティのつながりを軸に、誰もが安全で安心できるまちを実現するため、地域の皆さんとともに全力で取り組んでまいります。

最後に、計画の改定に当たり、貴重な提言やご意見をいただいた区民参画組織「地区版計画改定支援グループ」の皆さん、区民説明会にご参加いただき、様々なご意見を頂戴した皆さんをはじめ、今回の改定にご尽力いただいた全ての関係者の方々に心から御礼申し上げます。

令和6(2024)年1月

アフターコロナの新時代に向けて、 区民とともにまちを元気にする

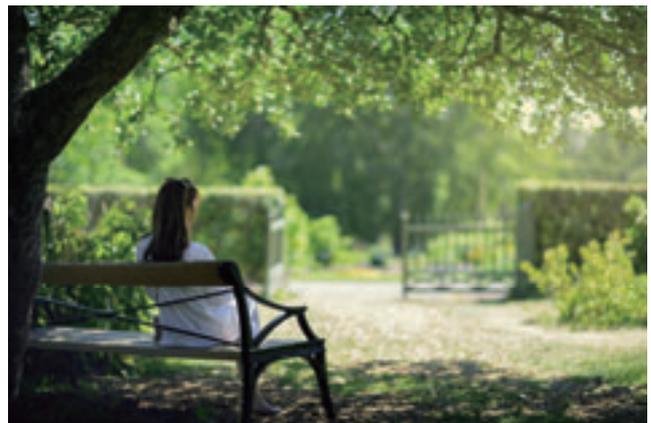
めざすまちの姿

地域の輪が創り出す安全・安心なまち～変化するまちとともに～

港区基本計画・高輪地区版計画書では、区民意識調査の結果や区民参画組織からの提言を踏まえ、本計画書の到達点を「めざすまちの姿」として設定しました。

高輪地区総合支所は、高輪ゲートウェイ駅の開業や地区内で進む再開発などにより変化していくまちにおいても、地域コミュニティのつながりを軸に、誰もが安全で安心できるまちの実現をめざします。

人にやさしく地域にやさしいまち



地域が一体となって防災や防犯に関する活動、緑の普及やマナー啓発に関する活動など、地域の課題解決に取り組み、安全で安心できる快適なまちが実現しています。

ゆたかな地域コミュニティとにぎわいのあるまち



多様な主体が相互に信頼関係を築き、地域コミュニティ活動の盛んなまちが実現しています。また、歴史的・文化的資源をはじめとした、高輪地区の魅力を地域の内外に積極的に発信することで、多くの人が集い、にぎわいのあるまちが実現しています。

誰もが安心して住み続けられるまち



地域の人々がまちに高い関心を持ち、地域全体で子どもの健やかな育ちを見守り、高齢者福祉を支える、誰もが安心して住み続けられるまちが実現しています。

目 次

第1章 総論	9
1 港区基本計画の目的と性格	10
2 計画改定の背景と基本姿勢	11
3 地区版計画書改定の基本的考え方	12
4 計画の構成	13
5 計画の期間	13
6 計画における「地域事業」の予算	14
7 地区版計画書とSDGs	15
8 高輪地区版計画書の体系	16
第2章 高輪地区の特性	19
1 地理的特徴	20
(1) 位置と面積	20
(2) 地形的特色	20
(3) 交通	21
(4) 歴史・文化的特色	22
2 施設等位置図	24
(1) 主な公共施設	24
(2) 公園等	26
(3) 災害時の避難場所等	27
3 人口想定	28

第3章 高輪地区版計画書の内容	31
地区版計画書の見方	32
I かがやくまち	34
1 人にやさしく地域にやさしいまちを実現する	34
(1) 災害に強く安全・安心なまちをつくる	36
(2) 緑あふれるまちをつくる	40
(3) マナーを守り、きれいなまちをつくる	42
II にぎわうまち	54
1 ゆたかな地域コミュニティとにぎわいのあるまちを実現する	54
(1) コミュニティの輪を広げて生かせるまちをつくる	56
(2) 文化・芸術・歴史を楽しめるまちをつくる	60
III はぐくむまち	64
1 誰もが安心して住み続けられるまちを実現する	64
(1) 子育てしやすいまちをつくる	66
(2) 高齢者が過ごしやすいまちをつくる	69
IV 実現をめざして	76
参考資料	79
1 高輪地区版計画書 改定経過	80
2 港区基本計画・高輪地区版計画書改定に向けた提言	82
3 関連計画等一覧	98

第 1 章

総論

第1章 総論

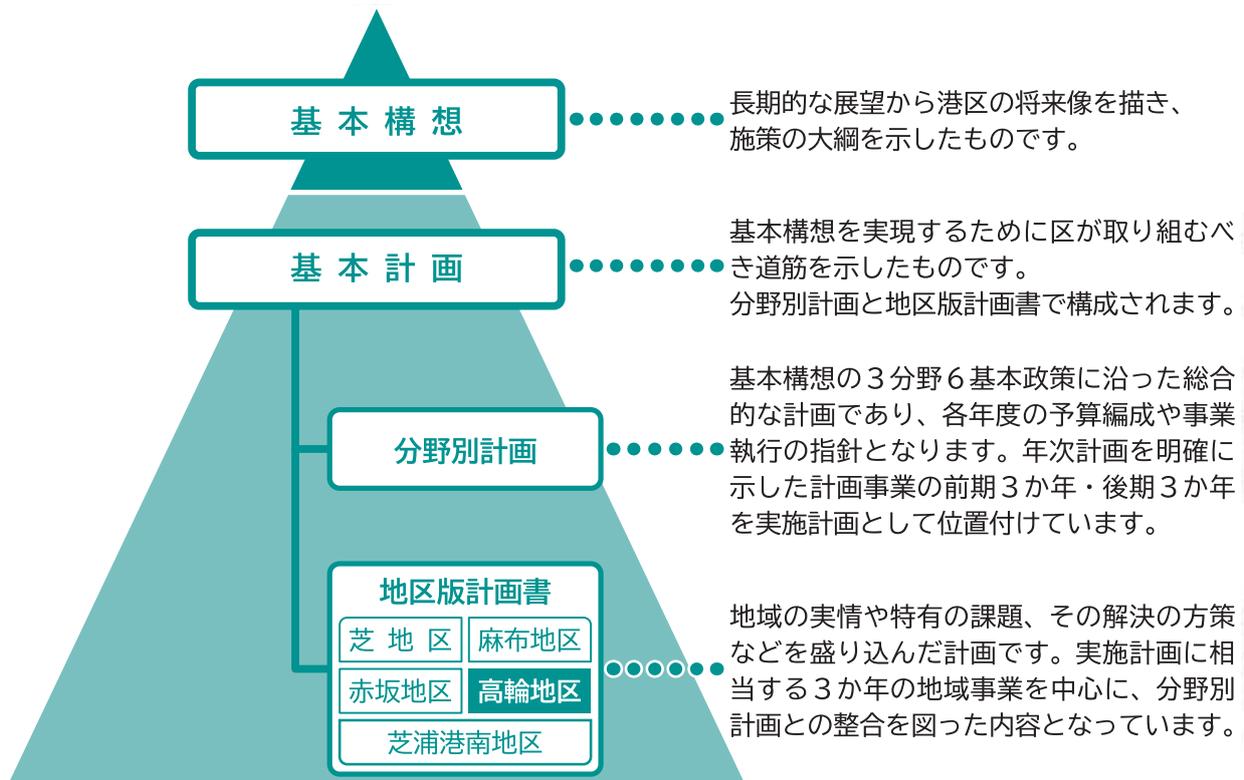
1 港区基本計画の目的と性格

港区基本計画は、区がめざすまちの姿とそこに至る道筋を明らかにし、目標や課題、施策の概要を体系的に示すことを目的としています。

基本計画は、区政のあらゆる分野で計画的に行財政運営を推進する際の指針となる最上位計画で、基本構想の3分野6基本政策に沿った総合的な計画である「分野別計画」と、総合支所ごとに策定した「地区版計画書」で構成されています。

「地区版計画書」は、地域の課題を地域で解決し、地域の魅力をより高めるため、各総合支所が区民参画組織からの提言を踏まえて、複数年間（令和3（2021）年度からの6か年の後期3か年に該当する、令和6（2024）年度から令和8（2026）年度まで）の計画を立案した、独自に取り組む事業（以下「地域事業」といいます。）を中心とする計画書です。

総合支所は、この地区版計画書を区民と共有しつつ、あらゆる主体と協働してまちづくりを進めていくための基本的な方向を示すものとして活用します。





2 計画改定の背景と基本姿勢

港区には、「芝」「麻布」「赤坂」「高輪」「芝浦港南」という5つの特色ある魅力的な地区が存在しています。

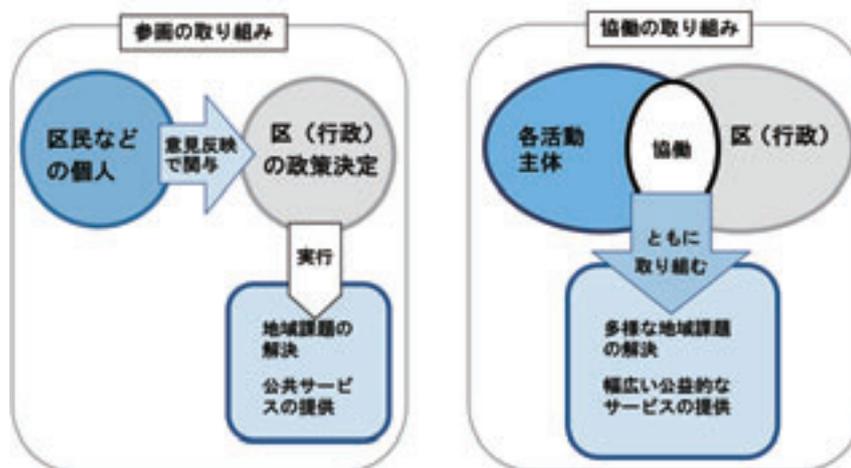
これら5つの地区の魅力と特性を生かすとともに、地域の課題を地域で解決し、区民がより身近な場所で様々な行政サービスを受けられることを目的として、平成18(2006)年4月に「区役所・支所改革」を実施し、それまでの「麻布」「赤坂」「高輪」「芝浦港南」の4つの支所は、「芝」を加えた5つの総合支所に生まれ変わりました。

「区役所・支所改革」の開始から17年の間に、各総合支所では区民協働により、各地区の課題解決や地域の魅力を高める取組などを行ってきました。

また、総合支所の権限強化や執行体制の充実、支援部等との連携を強化し、総合支所制度を充実することで地域と区との距離が近づき、相互の信頼関係が深まるなど「区役所・支所改革」は確実な成果を挙げています。

今回の計画改定では、現計画における各施策の成果やこれからの課題を検証し、区を取り巻く様々な状況変化に柔軟かつ的確に対応していくとともに、引き続き「参画と協働」により築いてきた区民や地域との強固な信頼関係を生かし、区が有する様々な地域資源や民間活力なども効果的に活用しながら、将来を見据えた港区ならではの政策実現に向けて着実に取り組んでいきます。

参画と協働



出典：「港区区民協働ガイドライン」(平成26(2014)年3月)

3 地区版計画書改定の基本的考え方

(1) 「参画と協働」による計画の推進

地区版計画書の改定に当たっては、計画の前期の成果や今後の方向性について、高輪地区の区民参画組織であるタウンミーティング TAKANAWA「地区版計画改定支援グループ」からいただいた提言の反映に最大限努めました。

地区版計画書に計上した事業の実施に当たり、「参画と協働」による取組を一層推進し、地域の課題解決と魅力の向上を図ります。

(2) 誰もが快適にいきいきと暮らすことのできる地域共生社会の実現に向けた取組の推進

子ども、高齢者、障害者、外国人、性的マイノリティの方など、全ての人と一緒に支え合いながら、自分らしくいきいきと活動し、快適に暮らすことができる地域共生社会を実現するための取組を推進します。

特に、次代を担う「子ども」を地域全体で育むまちづくりを一層推進します。

(3) 地区を取り巻く環境変化への対応

令和2(2020)年3月に田町駅と品川駅間に高輪ゲートウェイ駅が開業したほか、都市計画道路環状第4号線の整備やリニア中央新幹線品川駅の開業も予定されていることなどから、変化するまちとともに想定される地域課題を把握し、住みやすく、愛着と誇りを持てる環境づくりを推進します。

(4) 自然災害の頻発や激甚化への対策

大規模地震、水害や新たな感染症の脅威などの危機から安全・安心な暮らしを守るため、区民や企業等と行政が連携し、地域が一体となって備えます。さらに、災害発生時には円滑に対処できるよう、各関係機関との連携・協力を推進します。

(5) アフターコロナの新時代に向けた取組の推進

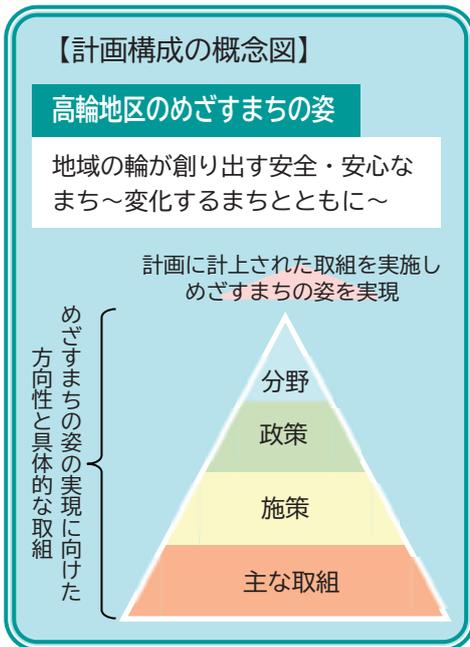
新型コロナウイルス感染症の影響により大きな打撃を受けた地域コミュニティの活性化や多様化する区民生活の支援など、予想される行政需要に的確に対応する必要があります。

優先的・積極的に取り組むべき課題に対し、限られた財源を配分し、子どもから高齢者まで誰もが安心して住み続けられる環境づくりを推進します。



4 計画の構成

高輪地区版計画書は、現在の高輪地区が置かれている現状や特性を踏まえた上で、高輪地区のめざすまちの姿である“地域の輪が創り出す安全・安心なまち ～変化するまちとともに～”の実現に向けた、6年間(令和3(2021)年度～令和8(2026)年度)の方向性と前期3か年(令和3(2021)年度～令和5(2023)年度)及び後期3か年(令和6(2024)年度～令和8(2026)年度)の具体的な取組を体系的に示しています。



項目	数	内容	
分野	3	港区基本構想で示されている「施策の方向」です。	
政策	3	高輪地区の各分野のめざすまちの姿です。	
施策	7	政策を実現するための取組です。	
主な取組	23	高輪地区版計画書に掲載している、高輪地区総合支所の主な取組です。	
	地域事業	7	地区の特性を踏まえ、年次計画(令和6年度～令和8年度)により進める事業です。
	その他	16	地域事業以外の事業です。

計画の推進に際しては、地区の特性や豊富な地域資源を活用しながら、課題の解決や地域の魅力の向上を図るため、高輪地区に住み、働き、学ぶ人々との協働により、高輪地区のめざすまちの姿の実現に取り組んでいきます。

5 計画の期間

高輪地区版計画書は、令和3(2021)年度から令和8(2026)年度までの6か年計画です。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大やそれに伴う社会経済の停滞、コミュニティ活動の停滞など、計画策定以降の変わりゆく社会動向に的確に対応していくために、中間年度である令和5(2023)年度に計画を改定しました。

本計画は、計画期間の後期に当たる令和6(2024)年度から令和8(2026)年度までの3か年の取組を示しています。

6 計画における「地域事業」の予算

「地域事業」は、令和6(2024)年度から令和8(2026)年度までの3か年について、総合支所ごとに配分された予算枠の中で実施します。

事業実施に係る予算は通常、事業ごとに単年度の予算額を定めています。これに対し、予算枠配分方式は、各総合支所の裁量を拡大し、地域特性や地域の課題を踏まえた「地域事業」を、配分された予算枠の中で年次計画を立てながら独自に創出できるようになっています。

[単位：千円]

年度	令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	計
事業費	42,355	41,501	42,841	126,697

No.	地域事業名	掲載頁
1	たかなわ防災コミュニティ向上プロジェクト ～地域とつながる マンション防災～	38
2	高輪みどりでつながるプロジェクト	41
3	高輪情報局	57
4	町会・自治会・マンション交流活性化プロジェクト ～地域がつながる たかな輪コミュニティ～	58
5	私が語る高輪今昔物語	61
6	たかなわ子どもコミュニティカレッジ	67
7	高輪ほっとひといき子育て支援事業 (愛称：COCO)	67

【参考】港区版ふるさと納税制度とは

港区版ふるさと納税制度は、寄付を通じて活力あふれる地域共生社会の基盤づくりを推進するため、「納税者が自ら寄付先を選択し、地域を応援する」というふるさと納税制度本来の趣旨を踏まえ、返礼品によらず、寄付者自身が寄付の使い道をお選びになり、区の実施を応援していただく制度です。防災・生活安全分野や環境分野など12の活用先からお選びいただくことができます。



7 地区版計画書とSDGs

SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて、国や地方自治体、企業、教育・研究機関、NPOなど様々な主体により積極的な取組が展開されています。本計画書の政策の方向性とSDGsの各目標は重なるものが多いことから、政策や施策との関連を明らかにし、SDGsの目標の達成期限（2030年）まで10年を切っていることを踏まえて、各施策を推進していきます。

各政策と関連するSDGs

【かがやくまち】

人にやさしく地域にやさしいまちを実現する



【にぎわうまち】

ゆたかな地域コミュニティとにぎわいのあるまちを実現する



【はぐくむまち】

誰もが安心して住み続けられるまちを実現する



【参考】SDGsとは

SDGs（持続可能な開発目標）とは、平成27(2015)年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された令和12(2030)年までに持続可能でより良い世界をめざす国際目標です。17のゴールと169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っており、普遍的なものとして全ての国で取組が進められています。



8 高輪地区版計画書の体系

めざすまちの姿 分野 政策 施策

地域の輪が創り出す安全・安心なまち
 変化するまちとともに

I かがやくまち

街づくり・環境

1 人にやさしく地域にやさしいまちを実現する

(1) 災害に強く安全・安心なまちをつくる

(2) 緑あふれるまちをつくる

(3) マナーを守り、きれいなまちをつくる

II にぎわうまち

コミュニティ・産業

1 ゆたかな地域コミュニティとにぎわいのあるまちを実現する

(1) コミュニティの輪を広げて生かせるまちをつくる

(2) 文化・芸術・歴史を楽しめるまちをつくる

III はぐくむまち

福祉・保健・教育

1 誰もが安心して住み続けられるまちを実現する

(1) 子育てしやすいまちをつくる

(2) 高齢者が過ごしやすいまちをつくる



 は、高輪地区の地域事業です。

主な取組

① 地域住民が主体となって進めるまちづくり活動への支援

② 防災意識の普及・啓発と防災情報の活用

③ たかなわ防災コミュニティ向上プロジェクト ～地域とつながる マンション防災～ 

④ 安全で安心して暮らせるまちづくり

① 高輪みどりでつながるプロジェクト 

② 地域の自然の保護・保全

① 安全で快適な自転車利用等の推進

② 多様な来街者に向けたルールやマナー啓発活動の推進

① コミュニティ意識の醸成と活動組織への支援

② 高輪情報局 

③ 町会・自治会・マンション交流活性化プロジェクト ～地域がにつながる たかなわ輪コミュニティ～ 

④ 多様な主体との連携・協力の推進

① 私が語る高輪今昔物語 

② 歩いて楽しめる地域の魅力発見・共有・発信

① たかなわ子どもコミュニティカレッジ 

② 高輪ほっとひといき子育て支援事業（愛称：COCO） 

③ 連携自治体とのつながりを生かした子どもへの体験機会の創出

① チャレンジコミュニティ大学、チャレンジコミュニティ・クラブ

② 高齢者のセーフティネットワークの充実

③ 高齢者の健康・生きがいづくり

IV 実現をめざして

- ① ② ③
- ① 参画と協働の推進
- ② 効果的な情報発信
- ③ アフターコロナに向けた事業運営

第 2 章

高輪地区の特性

1 地理的特徴

(1) 位置と面積

高輪地区は港区の南部に位置しており、北側が芝、麻布地区と接し、東側は山手線までを地区の境界としています。また、西側は渋谷区、南側は品川区と隣接しています。

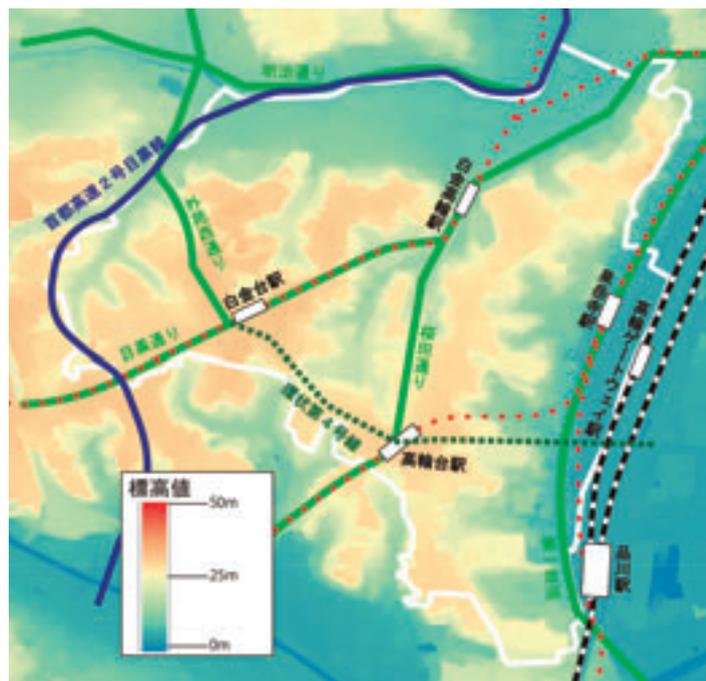
地区内では、芝地区との境に三田4・5丁目、東南部に高輪1～4丁目、地区の西側に白金1～6丁目及び白金台1～5丁目が位置します。高輪地区の面積は約 3.47 km²で、港区の面積 20.36 km²の 17.04%を占めており、5つの地区の中では最も面積の狭い地区となっています。



(2) 地形的特色

高輪地区は、「高輪台」や「白金台」の地名が示すように、武蔵野台地の一部をなす高台地域がその大部分を占めています。一方、地区北部の白金は古川に沿った低地となっています。また、地区東端の芝浦地区に面した地域では入り江状の地形となっているなど、全体として起伏に富んだ地形です。

■地形（標高）状況図



資料：国土地理院（基盤地図情報 数値標高モデル）より作成



(3) 交通

高輪地区には、首都高速2号目黒線、第一京浜、桜田通り、目黒通り、外苑西通り等が整備されており、今後、都市計画道路環状第4号線の整備が予定されています。

また、東京メトロ南北線、都営浅草線、都営三田線の3本の地下鉄と、地区に隣接して山手線、京浜東北線の線路が通っています。

さらに、泉岳寺駅の再整備や品川駅及び高輪ゲートウェイ駅駅前広場などの道路基盤整備、リニア中央新幹線駅の整備が計画されており、今後も大規模な開発により大きく変化し続けます。



(4) 歴史・文化的特色

港区は、徳川家康の江戸入府以後、飛躍的に発展した地域であり、高輪地区には当時の歴史を伝える様々な史跡が残されています。

○高輪地区には、かつて、江戸の南の玄関口として、治安維持と交通規制に重要な役割を担った「高輪大木戸」が設けられました。この木戸は、江戸時代後期に廃止されましたが、旧東海道である国道15号（第一京浜）の泉岳寺駅付近には、現在も片側の石垣が旧態のまま残されています。「高輪大木戸」は、伊能忠敬が日本全国の海岸線測量の起点とした場所でもあります。また、往時は、周辺の街道沿いに茶屋などが多く、月見の名所としてもにぎわい、浮世絵にも多く描かれました。



東都品川宿 高輪大木戸



東都名所年中行事
七月 高輪廿六夜

○高輪地区は、寛永12(1635)年頃、多くの寺院が移り、寺町が形成されました。赤穂義士の墓所がある「泉岳寺」は、忠臣蔵の舞台として、歌舞伎や講談、テレビドラマ等でも多数取り上げられています。また、かつて、海に接していた高輪地区には、東海道沿いで、海上の艦船との連絡が容易であることなどから、安政5(1858)年の開国以後、日本と条約を結んだ諸外国の公使館や宿泊施設が集中して置かれました。イギリス公使館、フランス公使館、オランダ公館、スイス宿寺等、いずれもこの一帯の寺院にありました。



芝三田二本榎高輪邊繪圖



○高輪地区の緑地には、豪族や名家の屋敷があった場所や、皇室の邸宅として使用されてきた場所があります。なかでも特に広い国立科学博物館附属自然教育園は、江戸時代には高松藩松平家の下屋敷であった場所が、明治時代に陸海軍の火薬庫として使用されました。大正時代には宮内省の所管となり白金御料地として使用され、昭和 24(1949)年に全域が「天然記念物及び史跡」に指定されたものです。



国立科学博物館附属自然教育園

○高輪地区の街並みは、時代の流れとともに大きく変わりましたが、寺や神社をはじめとした歴史的な建物や豊かな緑を多く残してきました。こうした歴史的・文化的な財産と豊かな緑は、今なお、高輪地区に住み、働き、学ぶ人々の生活に潤いを与えています。

○東京都庭園美術館は、昭和 8(1933)年に建設されたアール・デコ様式の旧朝香宮邸とその空間を生かした展示と緑豊かな庭園が調和したユニークな美術館として、昭和 58(1983)年に開館しました。平成 26(2014)年にはホワイトキューブのギャラリーを備えた新館が完成し、80 年余の歴史と伝統に新たな創造空間が加わりました。平成 27(2015)年には、本館、茶室、正門等が国の重要文化財に指定されました。



東京都庭園美術館

○高輪ゲートウェイ駅開業に伴う線路切替工事後の線路跡地から、明治 5(1872)年に日本で初めて開業した鉄道路線の一部で、海上に作られた「高輪築堤」の遺構が令和 2(2020)年 8月に発見されています。



「高輪築堤」の遺構

浮世絵・絵図：港区立郷土歴史館所蔵

写真提供・協力：国立科学博物館附属自然教育園
東京都庭園美術館 港区立郷土歴史館

2 施設等位置図

(1) 主な公共施設

高輪地区には、高輪地区総合支所、高輪区民センター、高輪図書館を併設した高輪コミュニティプラザがあります。

区立の教育関連施設として、小中一貫教育校白金の丘学園のほか、小学校3校、中学校2校、幼稚園3園があります。

福祉関連施設は、子育て支援施設として保育園4園のほか港区保育室等6か所、児童館3館、高輪子ども中高生プラザのほか学童クラブ等7か所、高齢者福祉施設としていきいきプラザ5館のほか、特別養護老人ホームと高齢者在宅サービスセンター、高齢者相談センターが併設されている「白金の森」、障害者福祉施設として精神障害者支援センター（あいは一と・みなと）があります。

施設の整備状況としては、令和5(2023)年4月に、旧神応小学校の校舎を活用した、神応いきいきプラザ、神応学童クラブ、神応保育園等が入る複合施設「神応ほっとプラザ」を開設しました。

令和6(2024)年4月の御田小学校大規模改修に伴う仮校舎（白金3丁目）への移転に合わせ、現在の放課GO→みたに学童クラブ事業を加えた「放課GO→クラブみた」を開始します。



白金の丘学園



高輪子ども中高生プラザ



ゆかしの杜

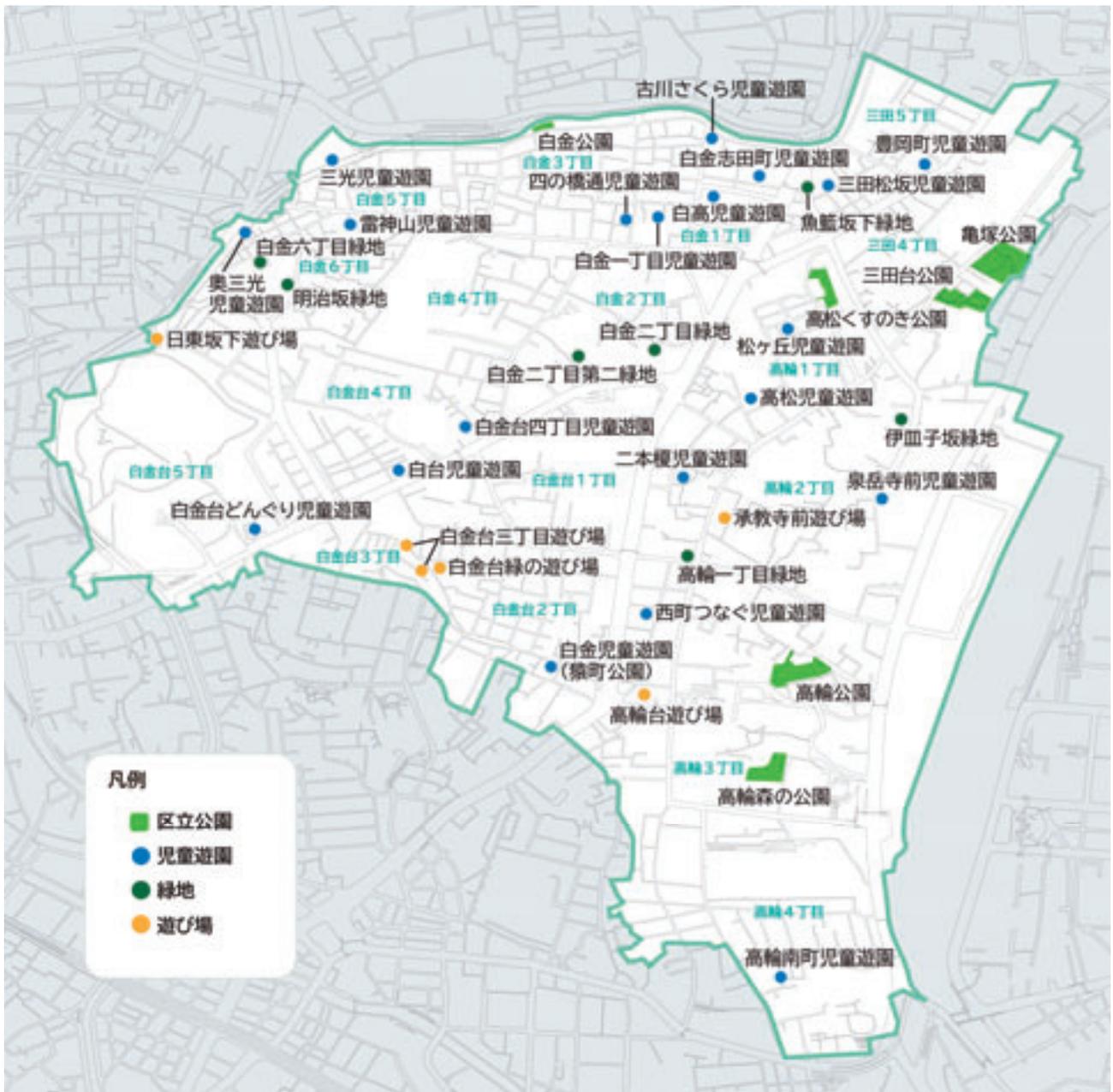


神応ほっとプラザ

(2) 公園等

高輪地区には、6つの区立公園があるほか、20の児童遊園、7つの緑地、5つの遊び場が整備されています。

図表 高輪地区の公園等の整備状況



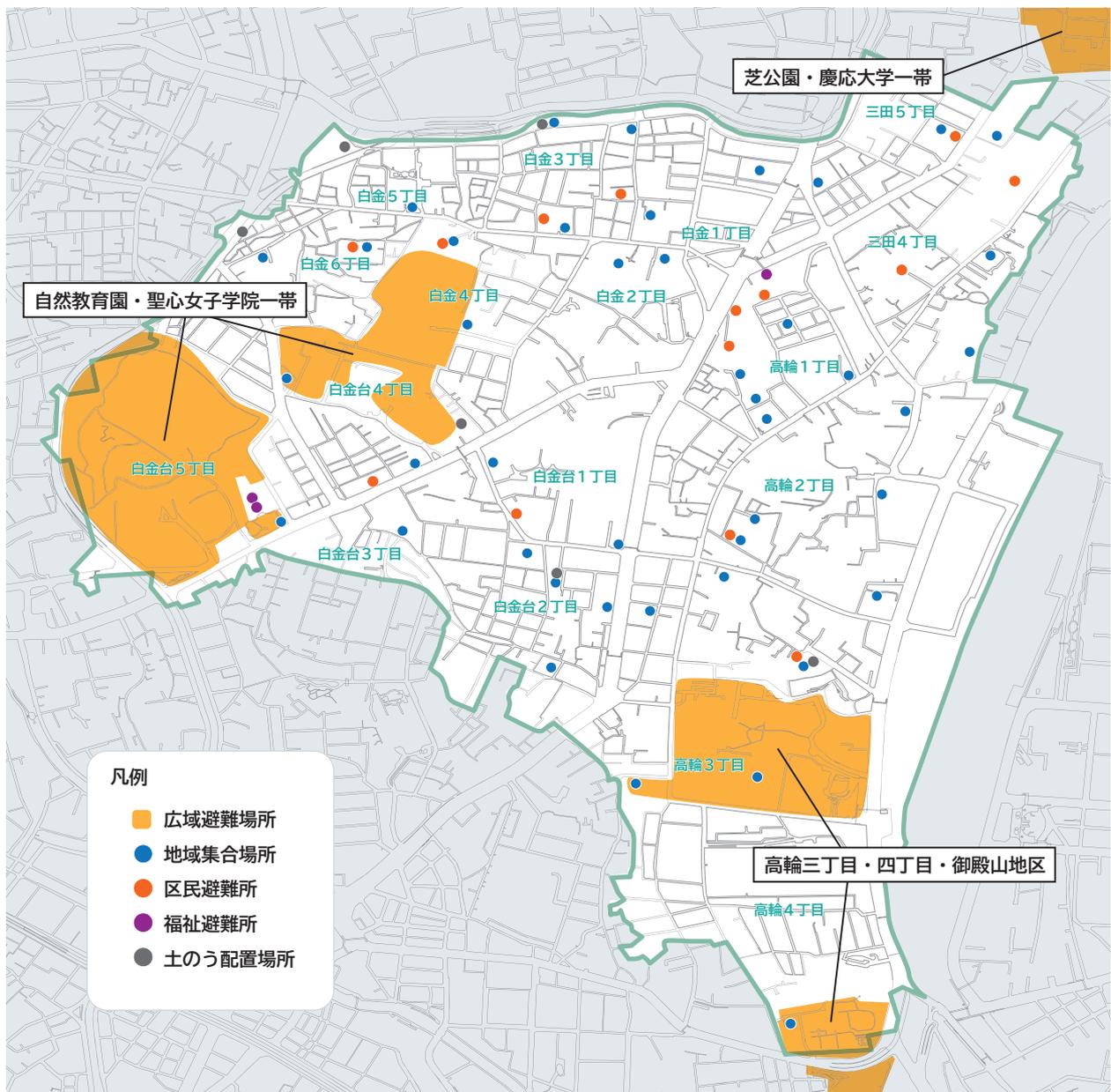
資料：「港区公共施設案内図 ぐるっとみなの 2023-2024」より作成（令和6（2024）年3月現在）



(3) 災害時の避難場所等

高輪地区では、震災時、火災の延焼による危険から避難する場所として、「芝公園・慶応大学一帯」、「自然教育園・聖心女子学院一帯」、「高輪三丁目・四丁目・御殿山地区」が広域避難場所に指定されています。また、43か所の地域集合場所、14か所の区民避難所(地域防災拠点)や3か所の福祉避難所があります。豪雨などによる浸水を想定して、土のうを6か所に配置しています。

図表 災害時の避難場所等の位置



資料：「港区高輪地区防災マップ」令和5(2023)年及び「港区浸水ハザードマップ」令和5(2023)年2月より作成(令和6(2024)年3月現在)

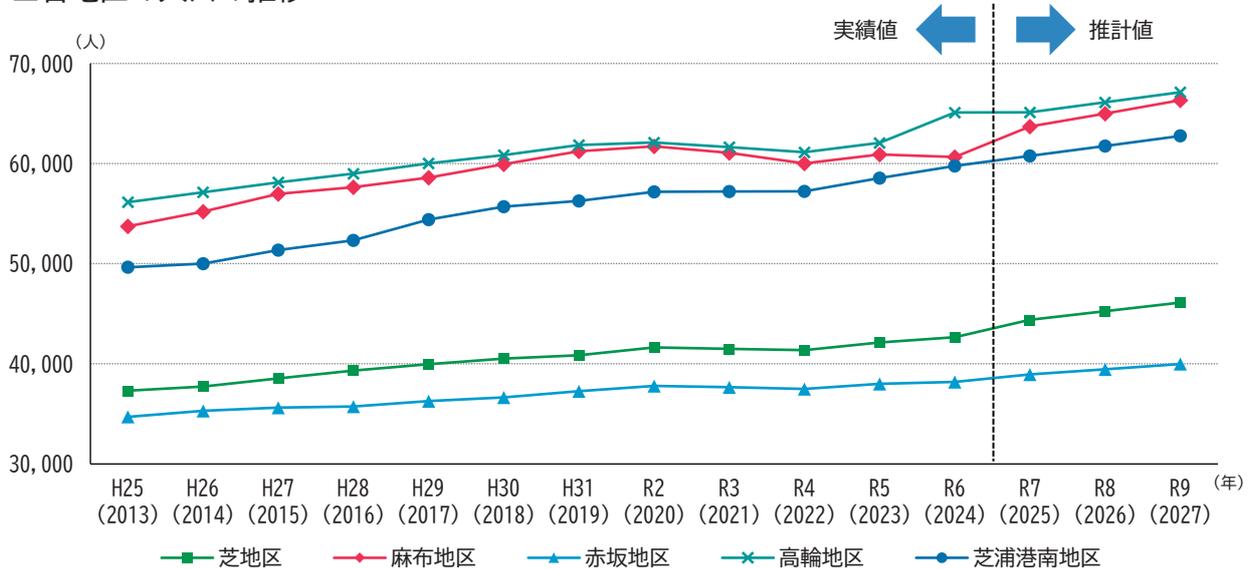
3 人口想定

港区の人口（住民基本台帳人口）は、令和2（2020）年6月以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に起因すると思われる減少傾向となっていました。令和4（2022）年2月からは再び増加傾向となり、令和6（2024）年1月1日には266,306人に達しました。10年前の平成26（2014）年に比べ13.2%増加しています。今後も増加傾向が継続すると見込まれ、令和9（2027）年1月1日には282,317人になると予想されています。

また、地区別の将来人口は、区全体と同様に、令和5（2023）年以降、増加傾向が継続すると見込んでおり、令和9（2027）年には、高輪地区が67,124人で最も多く、次に麻布地区が66,325人、芝浦港南地区が62,766人、芝地区が46,119人、赤坂地区が39,983人となる見込みです。

高輪地区の人口は、令和6（2024）年1月1日現在65,089人ですが、令和9（2027）年1月1日には67,124人となり、現在の人口よりも約3.1%増えると予想されています。

■各地区の人口の推移



資料：実績値－港区住民基本台帳、推計値－港区人口推計(令和5(2023)年3月)より作成

■人口の予測

()内は、各総数に対する構成比を示します。

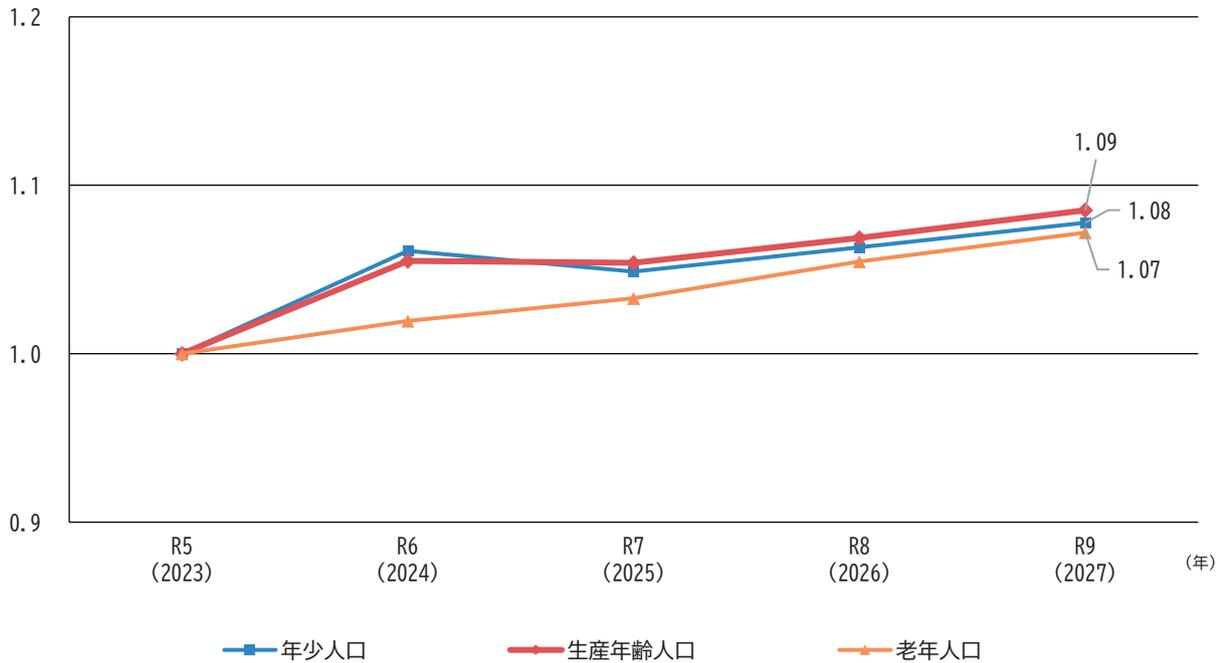
		令和5年1月1日		令和6年1月1日		令和9年1月1日(推計)	
		実数	構成比	実数	構成比	想定数	構成比
港区	総人口	261,615人	(100.0%)	266,306人	(100.0%)	282,317人	(100.0%)
地区別人口	芝地区	42,120人	(16.1%)	42,644人	(16.0%)	46,119人	(16.3%)
	麻布地区	60,906人	(23.3%)	60,642人	(22.8%)	66,325人	(23.5%)
	赤坂地区	37,993人	(14.5%)	38,180人	(14.3%)	39,983人	(14.2%)
	高輪地区	62,061人	(23.7%)	65,089人	(24.4%)	67,124人	(23.8%)
	芝浦港南地区	58,535人	(22.4%)	59,751人	(22.4%)	62,766人	(22.2%)

資料：実績値－港区住民基本台帳、推計値－港区人口推計(令和5(2023)年3月)より作成

※推計値及び構成比は単位未満を四捨五入し、端数処理をしていないため、合計の数値と内訳の計が一致しない場合があります。



■高輪地区の年齢3区分別人口の推移（令和5（2023）年1月1日現在の人口を1とした値）



資料：実績値－港区住民基本台帳、推計値－港区人口推計(令和5（2023）年3月）より作成

※年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）、老年人口（65歳以上）

■年齢3区分別人口の予測（高輪地区・港区）（ ）内は、各総数に対する構成比を示します。

		令和5年1月1日	令和6年1月1日	令和9年1月1日（推計）
高輪地区	総数	62,061人 (100.0%)	65,089人 (100.0%)	67,124人 (100.0%)
	年少人口	8,326人 (13.4%)	8,834人 (13.6%)	8,974人 (13.4%)
	生産年齢人口	41,460人 (66.8%)	43,742人 (67.2%)	44,993人 (67.0%)
	老年人口	12,275人 (19.8%)	12,513人 (19.2%)	13,158人 (19.6%)
港区	総数	261,615人 (100.0%)	266,306人 (100.0%)	282,317人 (100.0%)
	年少人口	35,629人 (13.6%)	36,142人 (13.6%)	37,753人 (13.4%)
	生産年齢人口	181,346人 (69.3%)	184,858人 (69.4%)	196,345人 (69.5%)
	老年人口	44,640人 (17.1%)	45,306人 (17.0%)	48,220人 (17.1%)

資料：実績値－港区住民基本台帳、推計値－港区人口推計(令和5（2023）年3月）より作成

※推計値及び構成比は単位未満を四捨五入し、端数処理をしていないため、合計の数値と内訳の計が一致しない場合があります。

※年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）、老年人口（65歳以上）

第 3 章

高輪地区版計画書の内容

地区版計画書の見方

●政策のページの見方

分野

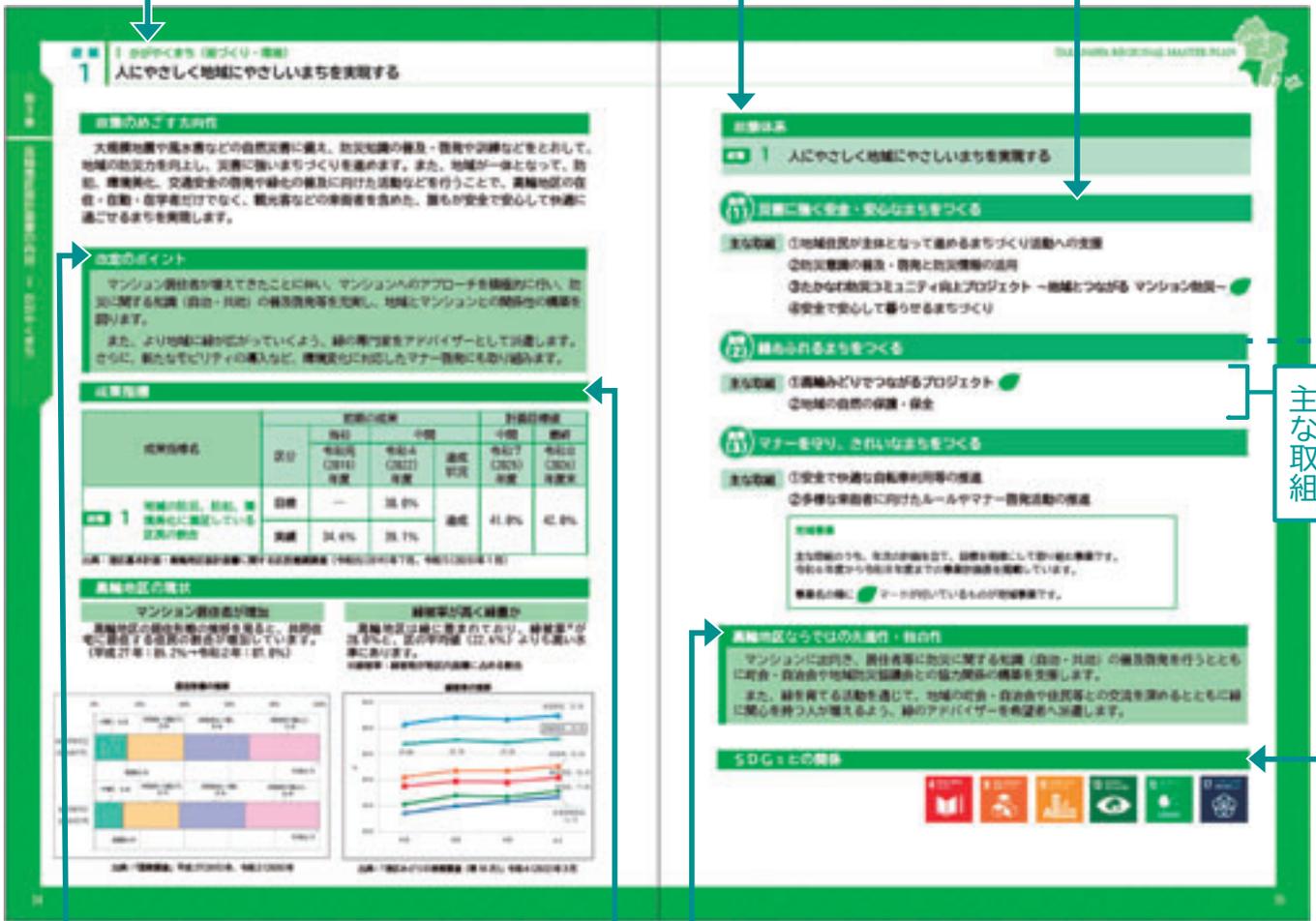
3つの分野（かがやくまち、にぎわうまち、はぐくむまち）のどれに該当するかを示します。

政策

高輪地区のめざす方向性を示します。

施策

政策を実現するための具体的な取組を示します。



改定のポイント

令和5(2023)年度改定で変更した点を記載しています。

成果指標

区民意識調査などに基づく区民の満足度を指標として設定しています。

高輪地区ならではの先進性・独自性

高輪地区の特長的な取組のポイントを示しています。

SDGsとの関係

関連するSDGsを一覧で表示しています。

主な取組



●施策のページの見方

SDGsとの関係

関連するSDGsを一覧で表示しています。

地域事業

主な取組のうち、年次の計画を立て、目標を明確にして取り組む事業です。
令和6年度から令和8年度までの事業計画表を掲載しています。
事業名の隣に マークが付いているものが地域事業です。

The screenshot shows a policy page with two main sections. On the left, 'SDGsとの関係' (Relationship with SDGs) features a table of related SDGs. On the right, '地域事業' (Local Initiatives) includes a table of annual plans and photos of activities. Arrows from the text boxes point to these specific elements.

成果指標

施策内の主な取組から代表的な取組についての成果を数値で設定しています。

関連計画等

取組に関連する区の個別計画等を記載しています。

分野別計画からの再掲事業（高輪地区）

地区版計画書の主な取組とは別に、港区基本計画・分野別計画から再掲する事業については、「分野別計画からの再掲事業（高輪地区）」として掲載しています。

上段に示した頁は、港区基本計画・分野別計画の掲載頁を記載しています。

年次計画（スケジュール）欄の記号（矢印）は次の内容を示しています。

調査→	事業実施以前の段階で調査、研究等を行う年次に使用します。施設計画の場合は、整備計画等の業務を含みます。
設計	-----→	設計を行う年次に使用します。
建設中	————→	設計（新設）の場合で、建設に着手から完成までの間の年次に使用します。
改築中	————→	改築（改修）の場合で、改築（改修）に着手から完成までの間の年次に使用します。

政策のめざす方向性

大規模地震や風水害などの自然災害に備え、防災知識の普及・啓発や訓練などをおして、地域の防災力を向上し、災害に強いまちづくりを進めます。また、地域が一体となって、防犯、環境美化、交通安全の啓発や緑化の普及に向けた活動などを行うことで、高輪地区の在住・在勤・在学者だけでなく、観光客などの来街者を含めた、誰もが安全で安心して快適に過ごせるまちを実現します。

改定のポイント

マンション居住者が増えてきたことに伴い、マンションへのアプローチを積極的に行い、防災に関する知識（自助・共助）の普及・啓発等を充実し、地域とマンションとの関係性の構築を図ります。

また、より地域に緑が広がっていくよう、緑の専門家をアドバイザーとして派遣します。さらに、新たなモビリティの導入など、環境変化に対応したマナー啓発にも取り組みます。

成果指標

成果指標名	区分	前期の成果			計画目標値	
		当初	中間		中間	最終
		令和元 (2019) 年度	令和4 (2022) 年度	達成 状況	令和7 (2025) 年度	令和8 (2026) 年度末
政策 1 地域の防災、防犯、環境美化に満足している区民の割合	目標	—	38.0%	達成	41.0%	42.0%
	実績	34.6%	39.1%			

出典：港区基本計画・高輪地区版計画書に関する区民意識調査（令和元(2019)年7月、令和5(2023)年1月）

高輪地区の現状

マンション居住者が増加

高輪地区の居住形態の推移を見ると、共同住宅に居住する住民の割合が増加しています。（平成27年：85.2%→令和2年：87.0%）

緑被率が高く緑豊か

高輪地区は緑に恵まれており、緑被率※が28.0%と、区の平均値（22.6%）よりも高い水準にあります。

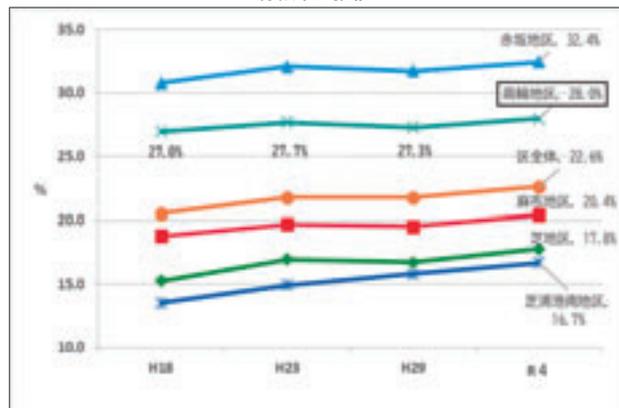
※緑被率：緑被地が地区内面積に占める割合

居住形態の推移



出典：「国勢調査」平成27(2015)年、令和2(2020)年

緑被率の推移



出典：「港区みどりの実態調査（第10次）」令和4(2022)年3月



政策体系

政策 1 人にやさしく地域にやさしいまちを実現する

施策 (1) 災害に強く安全・安心なまちをつくる

- 主な取組
- ①地域住民が主体となって進めるまちづくり活動への支援
 - ②防災意識の普及・啓発と防災情報の活用
 - ③たかなわ防災コミュニティ向上プロジェクト ～地域とつながる マンション防災～
 - ④安全で安心して暮らせるまちづくり

施策 (2) 緑あふれるまちをつくる

- 主な取組
- ①高輪みどりでつながるプロジェクト
 - ②地域の自然の保護・保全

施策 (3) マナーを守り、きれいなまちをつくる

- 主な取組
- ①安全で快適な自転車利用等の推進
 - ②多様な来街者に向けたルールやマナー啓発活動の推進

地域事業

主な取組のうち、年次の計画を立て、目標を明確にして取り組む事業です。令和6年度から令和8年度までの事業計画表を掲載しています。

事業名の隣に  マークが付いているものが地域事業です。

高輪地区ならではの先進性・独自性

マンションに出向き、居住者等に防災に関する知識（自助・共助）の普及・啓発を行うとともに町会・自治会や地域防災協議会との協力関係の構築を支援します。

また、緑を育てる活動を通じて、地域の町会・自治会や住民等との交流を深めるとともに緑に関心を持つ人が増えるよう、緑のアドバイザーを希望者へ派遣します。

SDGsとの関係



施策
(1)

災害に強く安全・安心なまちをつくる

目標・期待する成果

大規模地震や風水害をはじめとした自然災害への対応や犯罪が起きにくい環境を整え、安全で安心なまちづくりを推進します。

SDGs との関係



成果指標

成果指標名	前期の成果				計画目標値
	区分	当初	中間（見込）		最終
		令和2 (2020)年度	令和5 (2023)年度	達成 状況	令和8 (2026)年度末
たかなわ防災コミュニティ向上プロジェクトの参加人数	目標	—	300人	未達成	400人
	実績	200人※	250人		

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の実績が算出できないため、令和元年度の実績としています。

現状と課題

- 高輪ゲートウェイ駅の開業や都市計画道路環状第4号線の整備などを契機に進む再開発に際し、「三田・高輪地区まちづくりガイドライン」に基づく区民主体のまちづくりを推進し、今後予定されるまちと歴史あるまちとを融合していくことが重要です。
- 品川駅周辺地域は、西口駅前広場や北口駅前広場の整備、連続立体交差事業、リニア中央新幹線の開業が予定されており、交通結節点の重要な地域として期待されています。
- 泉岳寺駅についても、高輪ゲートウェイ駅や駅周辺施設の開業によって、駅の利用者の増加が見込まれることに伴い、駅の利便性、安全性の向上やバリアフリー化の充実を図るため、ホームの拡張及びコンコースの拡張、昇降施設、出入り口等の機能強化の工事が行われています。
- 高輪地区には4つの地域防災協議会（御田小地区防災協議会、白金小地域防災会、白金地区防災協議会、高輪地区防災ネットワーク）があり、防災訓練や地域の小・中学校で行われる防災訓練の講師として参加するなど、地域防災力の向上に取り組んでいます。
- 高輪地区では、マンション居住者が増えてきています。マンションの中には区や周辺の町会・自治会、防災住民組織との関係性が希薄なマンションもあります。マンションへのアプローチを積極的に行っていく必要があります。
- 防災の基本理念である「自助」「共助」「公助」に基づき、地域住民、町会・自治会、事業者、行政などが災害リスクへの対応や備蓄などを進めるとともに、多様な連携を図ることが必要です。令和6(2024)年1月に発生した能登半島地震による甚大な被害状況を踏まえ、地域の防災力を高めて、災害に強いまちをつくることが求められています。
- 東日本大震災では、区内に多数の帰宅困難者が発生し、駅周辺などで大きな混乱が生じました。この教訓を踏まえ、区は主要な駅を中心に、事業者が主体となった帰宅困難者対策を推進する組織づくりや活動の支援を進めています。高輪地区では、高輪ゲートウェイ駅の開業もあり、事業者や住民との更なる連携強化が必要です。
- 高輪地区では、高輪ゲートウェイ駅の開業などにより、様々な人々がまちを訪れることが見込まれます。アフターコロナでまちのイベントも元に戻ってきています。安全で安心なまちをめざして、区民や地域団体、企業との協働による生活安全活動の取組を推進していくことが必要です。



主な取組

① 地域住民が主体となって進めるまちづくり活動への支援

区民が主体で行う地域のまちづくり活動を支援します。また、都市計画や建築設計などの専門家をコンサルタントとして派遣し、その費用を助成します。

② 防災意識の普及・啓発と防災情報の活用

町会・自治会やマンションなどが、防災意識の高揚や防災知識の普及・啓発のための講演会や学習会を開催する際に、区が防災に関する専門家(防災アドバイザー)を派遣し、住居形態に合わせてアドバイスします。毎月行われる地域防災協議会でも、防災に関する区の施策や地域防災計画の内容を説明するなど様々な機会をとらえ、防災意識の普及・啓発を行います。さらに、消防署とも密に連携を取りながら実施していきます。

また、災害時の行動に役立つ防災マップや各種ハザードマップ、ハンドブックを配布するとともに、ハザードマップの便利で分かりやすい使い方等も周知し、区民が自身の住まいの周辺環境に応じて防災対策に取り組むことができるよう支援します。



防災アドバイザー（区民向け講演）



防災アドバイザー（地域防災協議会への説明）

③ たかなわ防災コミュニティ向上プロジェクト
～地域とつながる マンション防災～

高輪地域防災支援チームのメンバーとともにマンションへ出向き、居住者等に防災知識や自助・共助意識の普及・啓発を行い、マンション内やその地域の町会・自治会や地域防災協議会との顔の見える関係性を築き、災害時に助け合うことができるよう支援します。

また、高輪地区にある事業者、大学、地域防災協議会等が連携し、日頃、地域の防災訓練への参加が少ない子育て世代向けのイベント（子ども防災フェス）を開催し、親子で防災を考えるきっかけづくりを行います。

さらに、事業の種別や事業者の規模等を踏まえた、事業者向けの防災に関するセミナーを開催します。

全体計画目標 令和8 (2026)年度末	現状 令和5(2023) 年度見込	年次計画(スケジュール)			
		令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	計
地域の防災意識 の普及・啓発	防災フェス(1回)、 事業者セミナー(1 回)、まちのイベン トでの啓発(5回)	マンション向けの 啓発活動(4回)、 防災フェス(1回)、 事業者セミナー(1 回)、まちのイベン トでの啓発(3回)	マンション向けの 啓発活動(4回)、 防災フェス(1回)、 事業者セミナー (1回)、まちのイ ベントでの啓発 (3回)	マンション向けの 啓発活動(4回)、 防災フェス(1回)、 事業者セミナー (1回)、まちのイ ベントでの啓発 (3回)	マンション向けの 啓発活動(12 回)、防災フェス (3回)、事業者セ ミナー(3回)、ま ちのイベントでの 啓発(9回)
事業費(千円)		5,000	5,000	5,000	15,000

高輪地域防災支援チームの活動

平成24(2012)年度から令和2(2020)年度まで実施していた地域事業「高輪地区防災ボランティア育成事業」の修了生が総合防災訓練や区主催の防災イベントの運営に参加し、地域との交流を深めながら災害時に地域で活躍できるよう活動しています。また、区では、メンバーの防災に関する知識や知見を広げるため、フォローアップ講座を行うなど、チームの活動を支援しています。



家具転倒防止間違い探し



携帯トイレ啓発活動



④ 安全で安心して暮らせるまちづくり

「高輪地区生活安全・環境美化協議会」や町会・自治会等が行う地域パトロール、落書き消去活動及び通学路点検により、犯罪を未然に防止し、区民が安全で安心できる地域づくりを推進するほか、24時間体制で青色回転灯装備車両による地域パトロールを実施します。

また、地域の防犯対策として、地域団体が道路などに設置する防犯灯、防犯カメラの整備費、維持管理費等の補助事業について区民等に広く周知し、整備の促進、適切な維持管理が図れるよう支援します。

高輪地区生活安全・環境美化協議会の活動

「地域生活の安全確保と環境美化の推進」を目的として、高輪地区（三田4・5丁目、高輪、白金、白金台）に住み、働き、活動する団体、事業者、官公庁93団体が構成された地区最大の組織です。4つの専門部会が中心になって、住みやすいまちにしていくための活動をしています。

パトロール専門部会

防犯や地域の安全の観点からパトロールや落書き消しなどを実施していきます。



落書き消しキャンペーン

道路・公園専門部会

通学路の点検や道路・公園の開発状況について調査をしています。



通学路点検

自転車・バイク対策専門部会

自転車交通安全マナー改善や放置自転車対策に取り組んでいます。



交通安全啓発活動

環境美化専門部会

地域の環境美化・マナー向上のため、清掃活動などを行っています。



クリーンアップキャンペーン

関連計画等

- ・港区まちづくりマスタープラン（主な取組①）
- ・港区地域防災計画（主な取組②）
- ・港区生活安全行動計画（主な取組④）

※関連計画等の詳細は、右の二次元コードからご確認いただけます。



施策 (2) 緑あふれるまちをつくる

目標・期待する成果

区民との協働により、緑の保全や緑化の普及・啓発に取り組み、まちの景観を高めるとともに、地域の憩いやふれあいの場を創出します。

SDGsとの関係



成果指標

成果指標名	前期の成果				計画目標値
	区分	当初	中間（見込）		最終
		令和2 (2020)年度	令和5 (2023)年度	達成 状況	令和8 (2026)年度末
緑化の普及・啓発への取組の参加人数※	目標	—	350人	達成	700人
	実績	300人	500人		

※令和5(2023)年度実績(見込)を踏まえ、計画目標値を上方修正しました。

現状と課題

- 高輪地区は緑に恵まれており、豊かな緑がある場所は、地域に住む人や働く人の憩いやふれあいの場となっています。また、緑はコミュニティの観点だけではなく、景観や防災の観点からも地域の重要な資産となっています。
- 民有地の緑の保全と創出を進めるためには、保護樹木・樹林助成制度や屋上緑化などの助成制度の積極的な活用を促していく必要があります。
- 自然環境を保全し、再生するため、高輪地区内に残された貴重な自然環境を積極的に保全します。高松中学校敷地内では、アジサイロードの整備を進めており、区民が身近な自然環境で緑に興味と関心を持つ機会を提供していくことが必要です。



主な取組

① 高輪みどりでつながるプロジェクト

区民との協働により、高輪地区の特徴である豊かな緑を守り、育み、楽しみながら、緑を通じて地域コミュニティを形成し、緑化の普及に対する意識の向上を図ります。地域の区民と地区内の園児や児童との協働により、高輪コミュニティーぷらざでの花の育成活動や壁面緑化、高松中学校敷地内でのアジサイロードの整備を行い、緑に対する理解と地域との交流を深め、緑化の普及・啓発に取り組みます。また、緑の専門家のアドバイザーを希望者に派遣し、緑に関心を持つ人を増やし、地域に緑が広がっていくように促します。

全体計画目標 令和8 (2026)年度末	現状 令和5(2023) 年度見込	年次計画(スケジュール)			
		令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	計
緑化の普及	花の育成活動、壁面緑化、アジサイロード整備、児童向け啓発イベント	花の育成活動、壁面緑化、アジサイロード整備、緑の専門家の派遣	花の育成活動、壁面緑化、アジサイロード整備、緑の専門家の派遣	花の育成活動、壁面緑化、アジサイロード整備、緑の専門家の派遣	花の育成活動、壁面緑化、アジサイロード整備、緑の専門家の派遣
事業費(千円)		5,000	5,000	5,000	15,000



花の育成活動



壁面緑化(ホップの収穫)



アジサイロードの整備

② 地域の自然の保護・保全

- 公園や緑地などに生育する植物を保全していくことに配慮した維持管理を進めることに加え、「港区アドプト・プログラム※」により、区民による道路及び公園の清掃活動、街路樹ますや公園などへの植栽や、手入れなどの活動を支援します。
- 一定基準以上の樹木・樹林を保護樹木・樹林として指定し、維持管理に要する費用の一部を助成することで、地域にある良好な緑を保全します。
- 保護樹木・樹林助成制度の理解を深め、新規の申請を促進するため、パンフレットの作成などによる周知方法を充実させます。また、樹木診断や維持管理の相談などの支援により、高輪地区の良好な景観を形成する地域ゆかりの樹木を次世代に引き継げるよう、積極的に保護します。

※アドプト・プログラム：アドプトには「養子にする」という意味があり、ここでは地域の方々が「里親」となり、区の道路や公園をいわば自分達の養子(アドプト)として、清掃をしたり、花を植えたり、愛し育てていくボランティア活動のことです。

関連計画等

- ・港区緑と水の総合計画(主な取組①②)

※関連計画等の詳細は、右の二次元コードからご確認ください。



施策 (3) マナーを守り、きれいなまちをつくる

目標・期待する成果

区民や事業者等の多様な主体との連携によるマナー啓発や環境美化活動を通じて、快適なまちづくりを推進します。

SDGs との関係



成果指標

成果指標名	前期の成果				計画目標値
	区分	当初	中間（見込）		最終
		令和2 (2020)年度	令和5 (2023)年度	達成 状況	令和8 (2026)年度末
高輪地区生活安全・環境美化協議会の参加団体数	目標	—	99 団体	未達成	108 団体
	実績	90 団体	93 団体		

現状と課題

- 高輪地区は、坂道や歩道が狭い通りが多く、自転車利用者や歩行者がより安全で安心して通行できるように啓発していく必要があります。
- 電動キックボードなど新たなモビリティの導入など、変化する状況に則したルール、マナーの啓発をしていく必要があります。
- 高輪ゲートウェイ駅の開業をはじめとした再開発により、まちが変化しています。多様な来街者や増加する新住民に対しても、誰もが気持ち良く過ごすためのルールやマナーを積極的に伝えていく必要があります。
- 高輪地区における区が設置した指定喫煙場所の整備数は、高輪二丁目東海大学前、白金高輪駅3番出口前の2か所（令和6（2024）年3月現在）となっており、たばこを吸う人、吸わない人のいずれもが快適に過ごせる環境の整備が必要です。
- 行政だけではなく、町会・自治会や企業などで構成された「高輪地区生活安全・環境美化協議会」をはじめとした地域団体と協働し、地域が一体となってマナー啓発、環境美化活動を展開していく必要があります。



主な取組

① 安全で快適な自転車利用等の推進

町会・自治会等の地域団体や警察と協働し、自転車利用者のマナーを向上させるための啓発活動に取り組みます。

また、安全で安心して快適に道路空間を利用できるよう、「港区自転車利用環境整備方針^{※1}」に基づいた自転車専用通行帯や自転車ナビマークなどの活用により、歩行者・自転車・自動車を分離した自転車走行空間を確保します。

道路交通法の改正による「自転車ヘルメット着用」については、自転車を運転する人全員に対象が広がったことを受けて自転車交通ルールやヘルメット購入助成等の広報啓発を実施していきます。

さらに、令和5（2023）年7月の道路交通法の改正に伴い、電動キックボードに関する交通ルールが変更になりました。年に2回行われる「交通安全週間」等で警察署の協力のもと、電動キックボードの利用者に交通ルールや乗車マナーの啓発を積極的に行います。

② 多様な来街者に向けたルールやマナー啓発活動の推進

誰もが安心して過ごせるまちとするために、多様な来街者にも、「みなとタバコルール^{※2}」やごみの分別等のマナーを伝え、理解し、守ってもらうよう啓発します。指定喫煙場所の整備を進めるとともに、啓発に当たっては、多言語や「やさしい日本語^{※3}」を使ったパンフレットやピクトグラムを使うことで、分かりやすく周知します。

また、たばこやごみのポイ捨てなどの迷惑行為や、環境・地域美化に係る行為について、「高輪地区生活安全・環境美化協議会」の環境美化専門部会と協働し、マナーの啓発活動を行います。

※1 港区自転車利用環境整備方針：区民等が安全で安心して快適に道路空間を利用できるよう、「安全・安心で快適な走行空間の創出」と「地域の交流を促進する自転車ネットワークの形成」を基本方針とした自転車走行空間の整備方針として区が定めています。

※2 みなとタバコルール：区内で暮らす人や働く人、訪れる人など全ての人が守るべき喫煙のルールとして区が定めています。①たばこの吸い殻のポイ捨て禁止、②喫煙の禁止（港区指定喫煙場所を除く）、③私有地で喫煙する場合であっても、屋外の公共の場所にいる人にたばこの煙を吸わせることがないように配慮

※3 やさしい日本語：日本人が使う通常の日本語よりも簡単で、外国人にも分かりやすく表現された日本語のことです。区内には約130か国もの国籍の外国人が暮らしているため、区はより多くの人に情報を提供できるよう、やさしい日本語での情報発信を推進しています。

関連計画等

- ・ 港区総合交通計画（主な取組①）
- ・ 港区自転車交通環境整備計画（主な取組①）
- ・ 港区自転車通行空間整備計画（主な取組①）
- ・ 港区交通安全計画（主な取組①）
- ・ 港区環境基本計画（主な取組②）

※関連計画等の詳細は、右の二次元コードからご確認ください。



分野別計画からの再掲事業（高輪地区）

港区基本計画・分野別計画と地区版計画書の関連や整合を図るため、港区基本計画・分野別計画に掲載されている主な取組のうち、高輪地区において実施する内容を掲載します。

区民向け住宅の供給及び有効活用 重点課題6 [1-(1)-⑤] P.97、P.367

内容	第二東西連絡道路の計画に伴い、カナルサイド高浜の建替えを行い、新たな施設の整備を含む複合施設として整備します。※1					
活動指標	指標名	前期の実績			計画目標値	
		区分	当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成 状況	
	建替え住宅の整備 戸数※2	目標	—	シティハイツ高浜 20戸	未達成	シティハイツ高浜 20戸 (令和7年度竣工)
		実績	—	シティハイツ高浜 0戸		
年次計画(スケジュール)	前期(見込)	後期				
	令和3(2021)～ 5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計	
	シティハイツ高浜 建設中 シティハイツ車町 設計中	シティハイツ高浜 →			シティハイツ高浜 20戸	
事業費	1,104,794千円	1,331,600千円	4,109,262千円	—	5,440,862千円	

※1 カナルサイド高浜は、シティハイツ高浜、障害者グループホーム、宿泊所高浜荘、認可保育園、小規模多機能型居宅介護施設、障害福祉サービス事業所提供スペースの複合施設となっています。

※2 前実施計画では、シティハイツ車町の整備を計上していましたが、土地区画整理事業等の影響により竣工時期は未定となっています。また、シティハイツ高浜の竣工が令和5(2023)年度から令和7(2025)年度に変更となったことも踏まえ、計画目標値を修正しました。



都市計画道路の整備 **重点課題2** [1-(2)-①] P.103、P.368

内容	都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)に基づき、優先整備路線に位置付けられた路線の着手に向け、東京都などの関係者と協議を進めます。また、補助第7号線及び補助第9号線の事業認可区間、補助第332号線の泉岳寺駅地区第二種市街地再開発事業認可区間における整備を推進します。				
活動指標	指標名	前期の実績			計画目標値
		区分	当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成 状況
	道路用地取得件数 ※1	目標 —	実績 ●愛育クリニック区間 13件 ●二之橋区間 9件	●愛育クリニック区間 14件 ●二之橋区間 23件	●愛育クリニック区間 14件 ●二之橋区間 32件 ●新規区間(予定) 1件
年次計画(スケジュール)	前期(見込)	後期			
	令和3(2021)~ 5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計
	補助第7号線 (桜田通り区間) 工事中	補助第7号線 (桜田通り区間)			工事中
	補助第7号線 (愛育クリニック区間) 用地取得0件	補助第7号線 (愛育クリニック区間)			用地取得(1件)
	補助第7号線 (二之橋区間) 用地取得11件	補助第7号線 (二之橋区間)			用地取得(12件)
	補助第9号線 (麻布運動場区間) 工事中	補助第9号線 (麻布運動場区間)			工事中
	補助第332号線(泉岳 寺駅地区第二種市街 地再開発事業区間) 工事中		補助第332号線(泉岳寺 駅地区第二種市街地再 開発事業区間)		工事中
		新規区間(予定)※2			用地取得(1件)
事業費	2,763,496千円	2,689,644千円	2,275,896千円	2,704,596千円	7,670,136千円

※1 用地交渉が難航したため、計画目標値を下方修正するとともに、新規区間(予定)1件を新たに計上しました。

※2 補助第7号線(北条坂区間)、補助第14号線(高輪三丁目・四丁目)、補助第23号線(骨董通り)のいずれかの区間で実施を検討しています。

内容	自動車と歩行者の通行空間を分離し、歩行者の安全を確保するとともに、防災機能の向上やバリアフリーに配慮した、誰もが安全で安心に移動できるゆとりある歩道の整備や、日陰を確保できる街路樹を配置して、緑のネットワークを整備していきます。また、整備に当たっては自転車の通行空間についても検討し、整備を推進していきます。					
	活動指標	指標名	前期の実績			計画目標値
			区分	当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成 状況
歩道の設置及び改良延長※1	目標	—	87,020m		未達成	86,791m
	実績	83,766m	85,791m			
前期(見込)			後期			
	令和3(2021)～5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計	
		芝公園二丁目(365m)				工事中
				新橋四丁目(435m)		工事中
	虎ノ門一丁目(78m)工事完了					
	補助第7号線(桜田通り区間)※2(445m)設計完了					
	三田一丁目(中之橋～一の橋)(370m)設計完了	三田一丁目(中之橋～一の橋)(370m)				工事中
	三田一丁目(赤羽橋～中之橋)(325m)設計完了		三田一丁目(赤羽橋～中之橋)(325m)			工事中
				芝二丁目(325m)		工事中
	麻布十番一・二丁目(1期 193m、2期 372m)工事完了	麻布十番一・二丁目(500m)				工事中
	補助第9号線(麻布運動場区間)※3(322m)設計完了					
	南麻布四丁目(582m)設計完了(予備設計)					
	補助第7号線(愛育クリニック区間)※4(340m)設計完了(詳細設計)					
	六本木二丁目(244m)設計完了			六本木二丁目(244m)		工事完了
	六本木七丁目(405m)設計完了		六本木七丁目(405m)			工事中
	元赤坂一丁目(356m)設計完了		元赤坂一丁目(356m)			工事完了
			赤坂三丁目①(510m)			設計完了
			赤坂三丁目②(670m)			設計完了
	赤坂四丁目(483m)工事完了					
	赤坂六丁目(97m)設計完了		赤坂六丁目(97m)			工事完了
	北青山二丁目(324m)工事完了					
	南青山七丁目(175m)設計完了					
			白金二丁目(173m)			工事完了
	白金六丁目(300m)設計完了	白金六丁目(300m)				工事完了
	高輪一丁目(130m)設計中	高輪一丁目(130m)				設計完了
	高輪四丁目(130m)設計完了	高輪四丁目(130m)				工事完了
	芝浦三丁目(275m)工事完了	芝浦三丁目(200m)				設計完了
事業費	1,269,961千円	329,071千円	781,158千円	700,279千円	1,810,508千円	

※1 電線共同溝工事の遅延により、歩道整備工事が遅れているため、計画を精査した結果、計画目標値を下方修正しました。

※2～4 補助第7号線(桜田通り区間)、補助第9号線(麻布運動場区間)、補助第7号線(愛育クリニック区間)の事業費は、「都市計画道路の整備」の項(P.368)に計上しています。



電線類地中化の推進

重点課題2

〔1-(2)-①〕

P.103、P.371

活動指標	指標名	前期の実績			達成状況	計画目標値 令和8(2026)年度末
		区分	当初	中間(見込)		
			令和2(2020)年度	令和5(2023)年度		
電線類地中化の整備延長※1	目標		51.9km	未達成	52.6km	
	実績	50.5km	50.8km			
年次計画(スケジュール)	前期(見込) 令和3(2021)~5(2023)年度	後期				
		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計	
	補助第7号線(桜田通り区間)※2(445m)設計中	補助第7号線(桜田通り区間)(445m)				工事中
	補助第7号線(愛育クリニック区間)※3(340m)設計中	補助第7号線(愛育クリニック区間)(340m)				設計中
	補助第9号線(麻布運動場区間)※4(322m)設計中	補助第9号線(麻布運動場区間)(322m)				工事中
	芝二丁目(325m)工事中	芝二丁目(325m)				工事完了
	浜松町一丁目(466m)設計中	浜松町一丁目(466m)				工事中
	虎ノ門一丁目(78m)工事完了					
	新橋四丁目(435m)設計完了	新橋四丁目(435m)				工事中
	三田一丁目①(370m)設計中	三田一丁目①(370m)				工事中
	三田一丁目②(325m)設計中	三田一丁目②(325m)				工事中
	芝公園二丁目(365m)工事中	芝公園二丁目(365m)				工事完了
	六本木二丁目(244m)工事中	六本木二丁目(244m)				工事完了
	六本木七丁目(405m)工事中	六本木七丁目(405m)				工事完了
	東麻布二丁目(364m)設計完了	東麻布二丁目(364m)				工事中
	南麻布四丁目(582m)設計中	南麻布四丁目(582m)				設計中
	元赤坂一丁目①(356m)工事中	元赤坂一丁目①(356m)				工事完了
				元赤坂一丁目②(100m)		設計中
	赤坂六丁目(100m)工事中	赤坂六丁目(100m)				工事完了
	白金台一丁目(510m)設計中	白金台一丁目(510m)				設計完了
	高輪一丁目(120m)設計中	高輪一丁目(120m)				工事中
	芝浦三丁目①(303m)工事完了					
	芝浦三丁目②(200m)設計中	芝浦三丁目(200m)				設計中
	事業費	1,335,006千円	1,029,499千円	644,830千円	1,373,110千円	3,047,439千円

※1 計画を精査した結果、計画目標値を下方修正しました。

※2~4 補助第7号線(桜田通り区間)、補助第7号線(愛育クリニック区間)、補助第9号線(麻布運動場区間)の事業費は、「都市計画道路の整備」の項(P.368)に計上しています。

内容	「港区自転車通行空間整備計画」に基づき、安全・安心で快適な自転車利用環境の整備を推進します。警察や国道、都道の管理者等と連携し、自転車専用通行帯や自転車ナビマーク等により、歩行者・自転車・自動車を分離した自転車通行空間を整備します。				
	指標名	区分	前期の実績		計画目標値
			当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成 状況
活動指標	自転車ネットワークの整備*	目標	—	32.22km	未達成
		実績	24.02km	32.05km	
年次計画(スケジュール)	前期(見込) 令和3(2021)～5(2023)年度	後期			計
		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	
	【24区間工事完了】	三田二丁目(471m)			
	芝公園二丁目(376m)	→			工事完了
	虎ノ門三丁目、愛宕一・二丁目(565m)	芝三・五丁目(424m)			
	虎ノ門二・三丁目(442m)	→			工事完了
	東新橋一・二丁目(588m)		芝公園一・三丁目、芝大門一丁目(588m)		
	海岸一丁目(188m)		→		工事完了
	海岸一丁目(235m)		芝公園一丁目(235m)		
	虎ノ門一丁目(100m)		→		工事完了
	虎ノ門四・五丁目、六本木一丁目(400m)			虎ノ門一丁目(240m)	
	虎ノ門二～四丁目、六本木一丁目(353m)			→	工事完了
	南麻布四・五丁目(470m)				
	芝公園三丁目、虎ノ門三丁目(565m)	→			工事完了
	元麻布一・二丁目(370m)		西麻布四丁目(375m)		
	南麻布四・五丁目(540m)	→			工事完了
	北青山二丁目(325m)		南麻布五丁目(345m)		
	南青山二丁目(335m)	→			工事完了
	元赤坂一丁目(110m)		南麻布三丁目(890m)		
	南青山七丁目(290m)		→		工事完了
	三田五丁目(294m)			南麻布二丁目(230m)	
	白金四丁目(550m)			→	工事完了
	白金一丁目(120m)		南青山七丁目(190m)		
	海岸三丁目(460m)		→		工事完了
	海岸三丁目(190m)		白金二丁目(230m)		
	芝浦三丁目(215m)		→		工事完了
	芝浦三丁目(300m)	港南二丁目(350m)			
	芝浦四丁目(120m)	→			工事完了
		海岸三丁目(250m)			
		→			工事完了
事業費	83,467千円	48,616千円	35,351千円	8,247千円	92,214千円

※ 契約不調や電線共同溝工事の遅延により、自転車通行空間の整備が遅れているため、計画目標値を下方修正しました。



子育て送迎ルート整備の推進 **重点課題3** 【1-(2)-①】 P.103、P.375

内容	子どもを乗せた自転車の安全な通行を支援するとともに、歩行者や自転車に対して子育て施設につながる道路としての認識を促すため、自転車ナビマークの設置や案内サインの掲示、路側帯の路面塗装などを進めることで、道路を通行する全ての人が気づき、理解できるように、「港区自転車通行空間整備計画」に基づき、子育て送迎ルートの整備を推進します。				
	活動指標	指標名	前期の実績		
区分			当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成 状況
子育て送迎ルート の整備	目標	—	—	—	5.5km
	実績	—	0.5km	—	
年次計画(スケジュール)	前期(見込) 令和3(2021)～ 5(2023)年度	後期			
		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計
	浜松町一丁目 (540m) 工事完了				
				芝公園二丁目(120m) —————▶	工事完了
		西麻布三・四丁目(450m) —————▶			工事完了
			東麻布二丁目(710m) —————▶		工事完了
				西麻布二丁目(240m) —————▶	工事完了
				東麻布一丁目(460m) —————▶	工事完了
		南青山一丁目(120m) —————▶			工事完了
			南青山四丁目(280m) —————▶		工事完了
				南青山四丁目(270m) —————▶	工事完了
		高輪二丁目(660m) —————▶			工事完了
				白金三丁目(260m) —————▶	工事完了
			芝浦四丁目(630m) —————▶		工事完了
				芝浦一丁目(540m) —————▶	工事完了
			港南三丁目(280m) —————▶	工事完了	
事業費	29,711千円	14,005千円	107,089千円	143,446千円	264,540千円

都市計画公園の整備 **重点課題2** [1-(2)-②] P.105、P.376

内容	都市計画決定に基づき将来的に公園にする区域の用地を取得し、計画的に公園の拡張や新設を行っていきます。災害時においては地域集合場所となるなど、防災活動拠点の機能を有する公園として整備を推進します。				
活動指標	指標名	区分	前期の実績		計画目標値
			当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	
	公園用地取得 件数*	目標	—	6件	達成
		実績	5件	6件	
年次計画スケジュール	前期(見込) 令和3(2021)～ 5(2023)年度	後期			
		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計
	三田台公園 (用地1件)	三田台公園 (仮整備1件)	(用地取得1件)	(仮整備1件)	用地取得 1件 仮整備 2件
事業費	1,421,745千円	241,658千円	273,000千円	20,000千円	534,658千円

※ 区域拡張に伴い、用地1件、仮整備1件を追加したため、計画目標値を新たに設定しました。

公園の整備 **重点課題4** [1-(2)-②] P.105、P.376

内容	公園に求められる役割や区民ニーズが年々多様化していることを踏まえ、計画段階から区民参画の手法を取り入れ、地域特性や区民のライフスタイルに合わせて既存公園の再整備を進めます。				
活動指標	指標名	区分	前期の実績		計画目標値
			当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	
	公園の整備数*	目標	—	1園	達成
		実績	0園	1園	
年次計画スケジュール	前期(見込) 令和3(2021)～ 5(2023)年度	後期			
		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計
	一の橋公園 工事完了		高輪公園		設計完了
			三河台公園		設計中
事業費	371,550千円	—	34,989千円	34,989千円	69,978千円

※ 高輪公園の再整備については、環四沿道(高輪三丁目)地区が令和6(2024)年10月都市計画決定に向けて進められています。その内容を踏まえて再整備の内容を決めることで地域のニーズを反映できることから、基本設計のスケジュールを令和7(2025)年度に変更し、計画目標値を下方修正しました。


児童遊園の整備 **重点課題4** [1-(2)-②] P.105、P.377

内容	地域の子どもたちが安全に遊べる身近な場所、また、地域の大人や高齢者にとっても身近なコミュニティ形成の拠点の一つとして、安心して集い和める魅力ある児童遊園を整備します。保育園の代替園庭となることを考えた施設整備等についても検討します。				
活動指標	指標名	区分	前期の実績		計画目標値
			当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	
	児童遊園の整備数	目標 — 実績 0 園	1 園 1 園	達成	令和8(2026)年度末 4 園
年次計画(スケジュール)	前期(見込) 令和3(2021)~ 5(2023)年度	後期			計
		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	
	西町つなぐ児童遊園 工事完了				
	芝五丁目児童遊園 設計中	芝五丁目児童遊園	→		工事完了
	六本木三丁目児童遊園 設計完了	六本木三丁目児童遊園	→		工事完了
西麻布二丁目児童遊園 設計中	西麻布二丁目児童遊園 [※]		→	工事完了	
事業費	115,968 千円	91,720 千円	66,784 千円	46,242 千円	204,746 千円

※ 西麻布二丁目児童遊園は、令和6(2024)年度まで設計を行い、令和6(2024)年度中に工事着手予定です。

快適な公衆・公園トイレの整備 **重点課題4** [1-(2)-③] P.107、P.378

内容	公衆トイレや公園トイレを計画的に整備します。令和5(2023)年4月に策定した「進めよう！おもてなし公衆トイレ」整備方針に基づき、男女それぞれの個室のトイレを基本として整備し、バリアフリー対応のトイレや内外部の照明、緊急時押しボタンの設置等により、誰もが安全で快適に利用できるトイレにしていきます。				
活動指標	指標名	区分	前期の実績		計画目標値
			当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	
	トイレの建替え箇所数 ^{※1}	目標 — 実績 0 箇所	2 箇所 2 箇所	達成	令和8(2026)年度末 7 箇所
年次計画(スケジュール)	前期(見込) 令和3(2021)~ 5(2023)年度	後期			計
		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	
			芝園橋際公衆便所	→	工事完了
		芝五丁目児童遊園	→		工事完了
	有栖川宮記念公園 (三軒家口)工事完了				
	一ノ橋際公衆便所 工事完了				
	六本木三丁目公衆便所 設計完了	六本木三丁目公衆便所	→		工事完了
	西麻布二丁目児童遊園 設計中	西麻布二丁目児童遊園 ^{※2}		→	工事完了
		高輪公園	→	設計完了	
新芝橋際公衆便所 設計完了	新芝橋際公衆便所	→		工事完了	
事業費	221,712 千円	252,784 千円	127,000 千円	160,772 千円	540,556 千円

※1 一部の公園トイレにおいて整備の遅延があるものの、新たに六本木三丁目、新芝橋際及び芝園橋際公衆便所の整備を計画計上したため、計画目標値を上方修正しました。

※2 西麻布二丁目児童遊園は、令和6(2024)年度まで設計を行い、令和6(2024)年度中に工事着手予定です。

内容	地域の方々が、自らの発意と合意に基づき、都市基盤の整備や住環境の向上など、地域の実情に応じたまちづくりを進めていくために、市街地再開発組合等の活動を支援します。				
活動指標	指標名	前期の実績			計画目標値
		区分	当初	中間(見込)	達成状況
	令和2(2020)年度		令和5(2023)年度	令和8(2026)年度末	
市街地再開発事業による地区数※	目標	—	完了4地区 継続8地区	未達成	完了6地区 継続7地区
	実績	継続4地区	完了4地区 継続1地区		
年次計画(スケジュール)	前期(見込)	後期			
	令和3(2021)~5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計
			三田小山町西		継続
	虎ノ門・麻布台 完了				
	白金一東部北 完了			白金一西部中	継続
	浜松町二 継続	浜松町二			完了
			西麻布三北東		継続
	三田三・四 完了				
			赤坂七-2		継続
	虎ノ門一・二 完了	虎ノ門一東			完了
				六本木五西	継続
				高輪三品川駅前	継続
				三田五西	継続
	事業費	14,313,607千円	5,163,800千円	1,986,800千円	6,787,200千円

※ 地区により再開発事業の進捗が遅延したため、計画目標値を下方修正しました。

内容	品川駅は、羽田空港の国際化やリニア中央新幹線の整備などにより、広域交通の結節点として機能の拡充が求められています。こうしたことから、連続立体交差事業や鉄道駅総合改善事業を推進し、来訪者にも分かりやすく、バリアフリーにも配慮した、利便性の高い駅空間を形成するとともに、複雑な乗換動線を解消します。				
活動指標	指標名	前期の実績			計画目標値
		区分	当初	中間(見込)	達成状況
	令和2(2020)年度		令和5(2023)年度	令和8(2026)年度末	
品川駅の改良として実施される事業数	目標	—	2事業	達成	2事業 (事業中)
	実績	1事業	2事業		
年次計画(スケジュール)	前期(見込)	後期			
	令和3(2021)~5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計
	連続立体交差事業及び鉄道駅総合改善事業2事業(事業中)	連続立体交差事業及び鉄道駅総合改善事業2事業(事業中)			連続立体交差事業及び鉄道駅総合改善事業2事業(事業中)
事業費	2,265,917千円	1,692,887千円	1,760,000千円	1,065,000千円	4,517,887千円


災害時のトイレ対策の充実 **重点課題2** [1-(4)-①] P.123、P.381

内容	新築・改築予定の区有施設や民間事業者等との協定により、災害時におけるトイレ、主にマンホールトイレの設置を推進します。災害時に区民避難所となる区立小・中学校や区有施設、公園・児童遊園にも計画的に設置するとともに、周知を図ります。また、在宅避難を推進するため、携帯トイレの普及に努めます。				
活動指標	指標名	前期の実績			計画目標値
		区分	当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成 状況
	マンホールトイレの基数 ^{※1}	目標	—	514基	達成
	実績	459基	523基		
年次計画(スケジュール)	前期(見込)	後期			
	令和3(2021)～5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計
	精神障害者支援センター 4基	(仮称)南青山二丁目 公共施設 2基	シティハイツ高浜 3基	赤坂地区総合支所 5基	10基
	西町つなぐ児童遊園 1基				
	札ノ辻スクエア 4基				
	赤坂学園新校舎 10基				
	芝新町児童遊園 5基				
	赤羽小学校新校舎 12基				
	古川さくら児童遊園 3基				
	神いいききプラザ 8基				
一の橋公園 5基					
増原公園 8基					
麻布いいききプラザ 4基					
※2 事業費	—	—	—	—	

※1 前実施計画に引き続き計画事業とするため計画目標値を設定しました。

※2 事業費は、各施設の事業費に含め、別途計上しています。

密閉型指定喫煙場所の整備 **重点課題5** [2-(8)-①] P.161、P.384

内容	より分煙効果が高い喫煙場所として、屋外密閉型喫煙場所・屋内喫煙場所の整備を積極的に推進し、たばこを吸う人も吸わない人も快適に過ごせるまちを実現します。				
活動指標	指標名	前期の実績			計画目標値
		区分	当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成 状況
	屋外密閉型指定喫煙場所及び屋内指定喫煙場所の数	目標	—	76か所	未達成
	実績	48か所	70か所		
年次計画(スケジュール)	前期(見込)	後期			
	令和3(2021)～5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計
	30か所	10か所	10か所	10か所	30か所
事業費	345,000千円	122,212千円	115,000千円	115,000千円	352,212千円

政策のめざす方向性

地域活動の新たな担い手となる人材を発掘・育成するとともに、多様な主体が相互に信頼関係を築きながら活動できるよう支援し、地域コミュニティの活性化をめざします。

また、高輪地区のコミュニティ活動や歴史的・文化的資源などの魅力を地域の内外に積極的に発信することで、多くの人が集い、にぎわいのあるまちを実現します。

改定のポイント

アフターコロナに向けて地域での活動が再び活発になってきたことから、町会・自治会等の地域活動への支援を一層強化します。

また、町会・自治会、商店会等の地域情報や高輪地区の歴史的・文化的魅力をさらに広く、効果的に発信し、地域のにぎわいの創出を支援します。

成果指標

成果指標名	区分	前期の成果			計画目標値	
		当初	中間		中間	最終
		令和元 (2019) 年度	令和4 (2022) 年度	達成 状況	令和7 (2025) 年度	令和8 (2026) 年度末
政策 1 地域コミュニティ活動に参加している区民の割合	目標	—	45.0%	未達成	49.0%	50.0%
	実績	41.3%	36.6%			

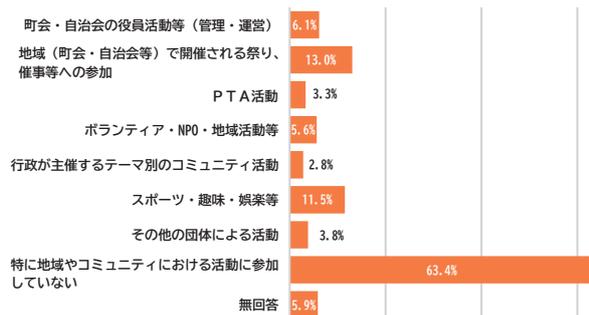
出典：港区基本計画・高輪地区版計画書に関する区民意識調査（令和元(2019)年7月、令和5(2023)年1月）

高輪地区の現状

コミュニティ活動への参加状況

区民意識調査（令和4（2022）年度）によると、高輪地区では、「特に地域やコミュニティにおける活動に参加していない」と回答した割合が6割を超えています。

地域やコミュニティにおける活動のうち、参加している活動について

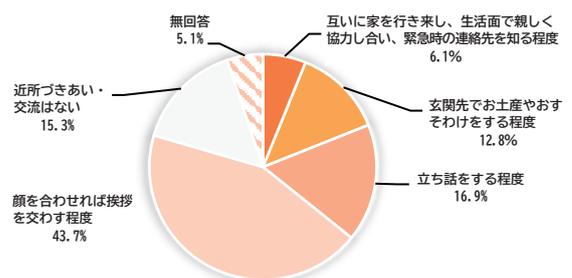


出典：港区基本計画・高輪地区版計画書に関する区民意識調査（令和5(2023)年1月）

地域での交流の機会

区民意識調査（令和4（2022）年度）によると、高輪地区では、「近所づきあい・交流はない」又は「顔を合わせれば挨拶を交わす程度」と回答した割合が約6割です。

近所の方との近所づきあい・交流の程度について



出典：港区基本計画・高輪地区版計画書に関する区民意識調査（令和5(2023)年1月）



政策体系

政策 1 ゆたかな地域コミュニティとにぎわいのあるまちを実現する

施策 (1) コミュニティの輪を広げて生かせるまちをつくる

- 主な取組
- ①コミュニティ意識の醸成と活動組織への支援
 - ②高輪情報局 
 - ③町会・自治会・マンション交流活性化プロジェクト
～地域がつながる たかな輪コミュニティ～ 
 - ④多様な主体との連携・協力の推進

施策 (2) 文化・芸術・歴史を楽しめるまちをつくる

- 主な取組
- ①私が語る高輪今昔物語 
 - ②歩いて楽しめる地域の魅力発見・共有・発信

地域事業

主な取組のうち、年次の計画を立て、目標を明確にして取り組む事業です。
令和6年度から令和8年度までの事業計画表を掲載しています。

事業名の隣に  マークが付いているものが地域事業です。

高輪地区ならではの先進性・独自性

高輪地区内の区有施設等に設置されているデジタルサイネージなどを用いて、地域のニーズにあった情報を発信します。

町会・自治会の活動等を学ぶ講座を実施し、町会・自治会の担い手育成を行うとともに、地域活動に関心がある人向けに町会・自治会活動に参加する機会を提供します。

高輪地区の歴史的・文化的魅力について、あらゆる人に分かりやすく伝え、誰もが訪れたいくなるようなまちの魅力を発信するため、区民参画メンバーが収集した高輪地区の過去や現在の写真などを、多様な切り口や視点から整理し、新しいホームページ上に公開します。

SDGsとの関係



施策
(1)

コミュニティの輪を広げて生かせるまちをつくる

目標・期待する成果

地域活動の担い手を増やすとともに、行政、区民、事業者、大学などが連携し、多様な主体の活動が広がるにぎわいのあるまちづくりを推進します。

SDGsとの関係



成果指標

成果指標名	前期の成果				計画目標値
	区分	当初	中間（見込）		最終
		令和2 (2020)年度	令和5 (2023)年度	達成 状況	令和8 (2026)年度末
町会・自治会・マンション交流活性化プロジェクト参加者のうち、町会・自治会活動への参加につながった延べ人数*	目標	—	50人	達成	86人
	実績	27人	59人		

※令和5(2023)年度実績(見込)を踏まえ、計画目標値を上方修正しました。

現状と課題

- 再開発などによりまちの姿が大きく変化する中、誰もが安心して快適に暮らすには、多様な主体との連携や良好な地域コミュニティを形成することが重要です。
- 震災のみならず国内外での風水害などの大規模な自然災害の発生により、区民の安全や安心に関する意識は高まっています。令和6(2024)年1月に発生した能登半島地震による甚大な被害状況を踏まえ、様々な地域活動をとおして、地域コミュニティを醸成することで、このようなリスクへ備えていくことがより一層求められています。
- 町会・自治会は、世帯人員の減少やライフスタイルの多様化などによる加入者数の減少、担い手の高齢化・固定化による後継者不足、再開発に伴い増加する高層マンション居住者の対応など様々な課題を抱える一方、地域の活動に参加する機会をとおして、高輪地区に長く住む区民とマンションの新住民が良好な関係を結びつつあります。
- アフターコロナへ向かいつつあり、多くの地域活動、人々のふれあいや交流が再開されています。地域活動への気運が高まる一方、コロナ禍において地域活動の経験が途絶え、経験者やノウハウが不足しているという課題があります。
- 高輪地区での様々な地域イベントやコミュニティ活動などについて、区民が知る機会を増やし、地域とつながるきっかけになるよう、積極的かつ効果的に情報を発信していく必要があります。
- 区と地域の大学は、教育・文化・地域振興などの分野における連携協力に関する基本協定を締結しており、大学と連携・協働し、互いが有する資源を活用した事業の推進が求められています。
- 高輪地区では、歴史的なつながりや地域団体と交流のある5つの自治体と連携を深めています。こうした交流・連携により、区と全国各地の自治体がともに成長・発展し、共存・共栄していくことが求められています。



主な取組

① コミュニティ意識の醸成と活動組織への支援

- 地域の区民や様々な団体が相互に信頼関係を築きながら主体的な活動を行えるよう、気軽に地域活動に参加できる機会の創出や生活安全・環境美化などの活動を支援します。
- 町会・自治会や商店会などの地域団体に対し、区民協働スペースの提供や催し物で使用する物品を貸し出し、地域団体が開催する催し物に係る負担を軽減することなどにより、各団体による活動を支援します。
- 商店会のイベントや店舗などの情報をSNSや高輪地区内のデジタルサイネージで発信し、商店会のにぎわいや地域コミュニティの活性化を図ります。
- 地域の活性化や地域コミュニティの育成を図るため、地域で積極的に活躍するリーダーを養成することを目的とした「チャレンジコミュニティ大学」を実施し、在学中から地域活動への積極的な参加を促すとともに、その修了生で組織する「チャレンジコミュニティ・クラブ」の活動を支援します。

② 高輪情報局

区民のニーズにあった幅広い地域の情報を効果的に発信し、地域活動への関心を高め、地域のにぎわいやコミュニティの活性化を図ります。

町会・自治会、商店会等が実施するイベントなど高輪地区に関する様々な情報を収集し、高輪地区内のデジタルサイネージを用いて発信します。また、施設内にブラインドを設置し、コンテンツを投影したり、双方向型のタッチパネル式デジタルサイネージの導入を検討するなど、使用する媒体を増やし、区民が地域の情報を容易に入手できるようにします。

全体計画目標 令和8 (2026)年度末	現状 令和5(2023)年度 見込	年次計画(スケジュール)			
		令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	計
効果的な地域情報 の発信 地域の活性化	サイネージの設置 (延べ9台) 取材・コンテンツ 制作	サイネージの設置 (延べ9台) ブラインド投影 (1か所) 取材・コンテンツ 制作	サイネージの設置 (延べ9台) ブラインド投影 (延べ1か所) タッチパネル式サイ ネージの設置 (1か所) 取材・コンテンツ 制作	サイネージの設置 (延べ9台) ブラインド投影 (延べ1か所) タッチパネル式サイ ネージの設置 (延べ2か所) 取材・コンテンツ 制作	サイネージの設置 (延べ9台) ブラインド投影 (延べ1か所) タッチパネル式サイ ネージの設置 (延べ2か所) 取材・コンテンツ 制作
事業費(千円)		6,201	5,097	5,097	16,395



神応ほっとプラザの
デジタルサイネージ



デジタルサイネージの
配信コンテンツ

③ 町会・自治会・マンション交流活性化プロジェクト
～地域がつながる たかな輪コミュニティ～

町会・自治会の担い手となる区民を育てることを目的とし、講座をとおして町会・自治会について学び、町会・自治会役員との顔合わせ、お祭りなどの町会・自治会活動への参加を行い、実際の活動に取り組むためのきっかけをつくります。

新たな取組として、町会・自治会が実施するイベントに新しいコミュニティ活動の担い手を派遣し、人材面でのサポートを行います。

また、町会・自治会役員等とプロジェクトチームをつくり、マンション居住者と円滑な交流を図れるような事業を実施します。

全体計画目標 令和8 (2026)年度末	現状 令和5(2023)年度 見込	年次計画(スケジュール)			計
		令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	
コミュニティ活動 の担い手の増加	地域の「潤滑油」と なる講座	地域の「潤滑油」 となる講座(6 回)、PT 検討会 (6回)、フォロー アップ講座(1回)	地域の「潤滑油」 となる講座(6 回)、PT 検討会 (6回)、フォロー アップ講座(1回)	地域の「潤滑油」 となる講座(6 回)、PT 検討会 (6回)、フォロー アップ講座(1回)	地域の「潤滑油」 となる講座(18 回)、PT 検討会 (18回)、フォロ ーアップ講座(3 回)
事業費(千円)		5,500	5,500	5,500	16,500



地域の活動を知るためのまち歩き



町会と受講生の顔合わせ



④ 多様な主体との連携・協力の推進

- 町会・自治会等の地域団体や事業者と警察署、消防署などの行政機関がそれぞれの取組や課題を共有し、意見交換をすることにより、協力関係を強化します。
- 催し物や情報紙等を通じて、高輪地区内の大使館や高輪地区の歴史などを紹介することで、外国人と地域の区民が互いの文化・伝統などを理解する機会を創出し、国際交流を促進します。
- 高輪地区内の大学の専門性を生かした事業を実施するほか、学生が区や地域住民と直接関わる機会を創出し、交流を促進します。
- 全国の自治体の中で、高輪地区の町会・自治会や商店会などと親交がある山形県庄内町、茨城県鉾田市、徳島県阿南市、高輪地区の歴史にゆかりのある熊本県熊本市、兵庫県赤穂市などと交流を深め、お互いの強みを生かしつつ連携することで相互の発展につなげます。

全国の自治体と高輪地区とのつながり

徳島県阿南市

白金北里通り商店会が阿波踊りの本場である徳島県の自治体と交流を希望して区が阿南市へ声掛けし、平成 28（2016）年度から交流が始まりました。



白金阿波踊り

熊本県熊本市

高輪一丁目にはかつて旧熊本藩細川氏の下屋敷があり、邸内に植えられていたシイの木は、現在「細川のシイ」として高輪のランドマークとなっています。また、加藤清正（初代熊本藩主）を祀る覚林寺があり「清正公」と呼ばれ人々に親しまれています。



清正公大祭

山形県庄内町

白金プラザ会主催の「天の川蛸祭」へのゲンジボタルの提供や物産展への参加等、まちをあげての協力が平成 20（2008）年から続いています。



天の川蛸祭

兵庫県赤穂市

忠臣蔵で有名な泉岳寺には、赤穂藩主浅野内匠頭長矩の墓所と赤穂義士の墓などがあり、また、高松中学校の敷地内には、大石内蔵助良雄ほか 16 人忠烈の跡があります。



義士祭 播州赤穂駅前

茨城県鉾田市

東日本大震災後に三田慶南町会が義援金を送ったのを機会に交流が始まりました。



子ども防災フェスでの出店

関連計画等

- ・港区産業振興プラン（主な取組①）
- ・港区文化芸術振興プラン（主な取組②）
- ・港区DX推進計画（主な取組②）
- ・港区国際化推進プラン（主な取組④）

※関連計画等の詳細は、右の二次元コードからご確認ください。



施策 (2) 文化・芸術・歴史を楽しめるまちをつくる

目標・期待する成果

高輪地区の歴史的・文化的魅力を地域の内外に積極的に発信し、誰もが訪れたいくなるまちの魅力を伝え、地域のにぎわいを創出します。

SDGsとの関係



成果指標

成果指標名	区分	前期の成果			計画目標値
		当初	中間（見込）		最終
		令和2 (2020)年度	令和5 (2023)年度	達成 状況	令和8 (2026)年度末
X（旧Twitter）アカウント「高輪地区総合支所」のフォロワー数*	目標	—	1,050人	達成	1,820人
	実績	300人	1,070人		

※令和5(2023)年度実績（見込）を踏まえ、計画目標値を上方修正しました。

現状と課題

- 高輪地区は、由緒ある寺や神社が数多く立地し、古くからの住宅や工場なども残る、歴史的な魅力にあふれたまちです。
- 再開発などによりまちが大きく変わっていく中、高輪地区に住む人が地域に魅力を感じ、愛着が持てるよう、地域の歴史を次世代に分かりやすく伝承していくことが求められます。
- 地域に住む人だけではなく、働く人、訪れる人、また様々な世代の人に対しても、歴史や伝統、文化の魅力を広く発信し、地域のにぎわいにつなげていく必要があります。



主な取組

① 私が語る高輪今昔物語

高輪地区の歴史的・文化的魅力をあらゆる人に分かりやすく伝承し、誰もが訪れたいくなるまちの魅力を発信することで、地域のにぎわいを創出します。

区民参画メンバーが収集してきた過去や現在の写真などを、多様な切り口や視点から整理し、新しいホームページ上で公開します。高輪地区の今と昔に関するストーリーをまとめ、まち歩き、展示会、動画配信等で発信します。また、メンバーが勧める高輪地区に関する書籍等を紹介する「高輪今昔物語ライブラリー」をホームページ上に開設するなど、高輪地区の魅力を地域の内外に広く発信します。さらに、高輪地区で取り組んでいる事業などとも連携、協力し、古い写真の収集を行うなど活動の場を広げていきます。

全体計画目標 令和8 (2026)年度末	現状 令和5 (2023)年度見込	年次計画（スケジュール）			
		令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	計
地域への愛着醸成 住民主体のシティ プロモーション	勉強会 まち歩き 出前講座・展示会 動画配信	写真資料の公開 用ホームページ の構築 まち歩き・出前 講座・展示会 動画配信 高輪今昔物語ラ イブラリー作成	写真資料の公開 用ホームページ の運営 まち歩き・出前 講座・展示会 動画配信 高輪今昔物語ラ イブラリー作成	写真資料の公開 用ホームページ の運営 まち歩き・出前 講座・展示会 動画配信 高輪今昔物語ラ イブラリー作成	写真資料の公開 用ホームページ の構築・運営 まち歩き・出前 講座・展示会 動画配信 高輪今昔物語ラ イブラリー作成
事業費（千円）		8,036	8,036	8,036	24,108



目黒通りにかかる歩道橋（白金台駅の上）

今と昔の写真を見ながら、
地域の歴史や魅力を知るまち歩き



目黒通り 白金台駅・日吉坂歩道橋付近

地域の歴史や魅力を語る出前講座

② 歩いて楽しめる地域の魅力発見・共有・発信

地域の区民や観光客など幅広い人々に高輪地区の歴史や文化などを発信し、地域の魅力にふれる機会を設けることで、まちの活性化につなげます。そのため、地域の自然や歴史的資産を、区のホームページ、SNS、デジタルサイネージ、地域情報紙「みなとつぷ」で紹介するなど、歩いて楽しめる地域の魅力を発信します。

また、地域の旧町名を刻んだ「旧町名由来板」を維持・管理し、幅広い人々にまちの歴史や魅力を知る機会を提供します。

高輪地区の魅力を発信中！

地域情報紙「みなとつぷ」

区民と行政とが身近な情報を共有し、地域コミュニティの一層の活性化を図るとともに、地域の人々にまちの魅力に対する深い愛着を持ってもらうことを目的に、区民の参画を得ながら高輪地区独自の地域情報紙を発行しています。



高輪地区総合支所 X
(旧Twitter)

高輪地区総合支所のアカウントで高輪地区にゆかりのある話題を発信しています。興味のある情報を選択しやすくするよう、ハッシュタグを活用したり、テーマごとに配信するなど、まちの魅力が伝わりやすい発信をしています。



旧町名由来板

区内に数多く存在する歴史や文学、歌舞伎に残る旧町名を、文化の視点で都市の記憶として保存するとともに、地域に対する愛着を深めてもらうことを目的に、平成19(2007)年度から平成21(2009)年度までの3年間で7基設置しました。



[設置箇所]

- 三田台公園 (三田4-17-28)
- 豊岡いきいきプラザ前 (三田5-7-7)
- 高輪公園 (高輪3-18-18)
- シティハイツ桂坂 (高輪2-13-8)
- 高輪一丁目緑地 (高輪1-27-27)
- 白高児童遊園 (白金1-17-4)
- 白金台どんぶり児童遊園 (白金台5-19-1)

関連計画等

- ・港区観光振興プラン (主な取組①②)
- ・港区文化芸術振興プラン (主な取組①②)

※関連計画等の詳細は、右の二次元コードからご確認いただけます。





分野別計画からの再掲事業（高輪地区）

港区基本計画・分野別計画と地区版計画書の関連や整合を図るため、港区基本計画・分野別計画に掲載されている主な取組のうち、高輪地区において実施する内容を掲載します。

コミュニティ活動の場の整備 **重点課題8** [3-(9)-④] P.177、P.385

内容	各地区におけるコミュニティ活動の状況や区民協働スペースの利用状況等を考慮しながら、地域の課題解決に向けた区民と区との協働の場・区民相互の活動の場として、区民協働スペースを整備します。					
	指標名	区分	前期の実績		計画目標値	
当初 令和2(2020)年度			中間(見込) 令和5(2023)年度	達成 状況	令和8(2026)年度末	
活動指標	区民協働スペース 設置場所数	目標	—	16か所	未達成	16か所
		実績	14か所	15か所		
年次計画 (スケジュール)	前期(見込) 令和3(2021)～ 5(2023)年度	後期				
		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計	
	神応いきいきプラザ 等複合施設 完成					
	(仮称)南青山二丁目 公共施設※ ¹ 建設中	(仮称)南青山二丁目公 共施設 →			完成	
	東麻布二丁目複合施 設※ ² 設計中	東麻布二丁目複合施設 →			建設中 (令和9年度完成予 定)	
事業費	—	—	—	—	—	

※1 (仮称)南青山二丁目公共施設の事業費は、「地域移行や親なき後を見据えた住環境の整備」の項(P.391)に計上しています。

※2 東麻布二丁目複合施設の事業費は、「小規模多機能型居宅介護施設の整備」の項(P.390)に計上しています。

政策のめざす方向性

子どもや保護者が気軽に相談や交流できる環境を整えることで、区民が地域の中で安心して出産や子育てできるとともに、健やかな子どもの育ちを支えるまちを実現します。

また、高齢者がこれまで培ってきた知識や経験を生かして地域で活躍できる機会を創出するとともに、地域での見守り体制などのセーフティネットの充実を図ることで、高齢者が安心して元気でいきいき暮らすことのできるまちを実現します。

改定のポイント

地区内3大学や連携自治体とのつながりを生かし、子どもたちに様々な体験の機会を提供します。また、子育てに関する相談や保護者同士の交流の機会を増やすなど、安心して出産、子育てができる環境づくりを行います。

高齢者の生きがいづくり、多世代参加の居場所づくりがさらに活性化するように、チャレンジコミュニティ大学及びその修了生で組織するチャレンジコミュニティ・クラブの活動への支援を充実します。

成果指標

成果指標名	区分	前期の成果			計画目標値	
		当初	中間		中間	最終
		令和元 (2019) 年度	令和4 (2022) 年度	達成 状況	令和7 (2025) 年度	令和8 (2026) 年度末
政策 1 近所の方を頼りにしている区民の割合	目標	—	39.0%	未達成	40.5%	41.0%
	実績	37.3%	33.0%			

出典：港区基本計画・高輪地区版計画書に関する区民意識調査（令和元(2019)年7月、令和5(2023)年1月）

高輪地区の現状

年少人口の増加

高輪地区では、年少人口が8,834人（令和6(2024)年1月1日現在）ですが、令和9(2027)年には、8,974人に増加すると見込まれています。

年少人口の推計結果（高輪地区）



資料：実績値－港区住民基本台帳、推計値－港区人口推計（令和5(2023)年3月）より作成

老年人口の増加

高輪地区では、老年人口が12,513人（令和6(2024)年1月1日現在）ですが、令和9(2027)年には、13,158人に増加すると見込まれています。

老年人口の推計結果（高輪地区）



資料：実績値－港区住民基本台帳、推計値－港区人口推計（令和5(2023)年3月）より作成



政策体系

政策 1 誰もが安心して住み続けられるまちを実現する

施策 (1) 子育てしやすいまちをつくる

- 主な取組
- ① たかなわ子どもコミュニティカレッジ 
 - ② 高輪ほっとひといき子育て支援事業（愛称：COCO） 
 - ③ 連携自治体とのつながりを生かした子どもへの体験機会の創出

施策 (2) 高齢者が過ごしやすいまちをつくる

- 主な取組
- ① チャレンジコミュニティ大学、チャレンジコミュニティ・クラブ
 - ② 高齢者のセーフティネットワークの充実
 - ③ 高齢者の健康・生きがいづくり

地域事業

主な取組のうち、年次の計画を立て、目標を明確にして取り組む事業です。
令和3年度から令和5年度までの事業計画表を掲載しています。

事業名の隣に  マークが付いているものが地域事業です。

高輪地区ならではの先進性・独自性

高輪地区にある3つの大学と連携し、大学の知的・人的資源を活用した子ども向けのプログラムを実施し、大学生と子どもとの多世代間交流及び地域交流を図ります。

明治学院大学と連携して実施している「チャレンジコミュニティ大学」では、地域で活躍するリーダーを養成しています。その修了生で組織する「チャレンジコミュニティ・クラブ」のメンバーは自主的に地域活動を行い、子どもとの交流など多世代間交流も活発に実施しています。

SDGsとの関係



施策 (1) 子育てしやすいまちをつくる

目標・期待する成果

誰もが安心して出産・子育てができるように、地域の中で、健やかな子どもの育ちや保護者の子育て力向上を支える環境づくりを推進します。

SDGs との関係



成果指標

成果指標名	前期の成果			計画目標値	
	区分	当初	中間（見込）		最終
		令和2 (2020)年度	令和5 (2023)年度	達成 状況	
たかなわ子どもコミュニティカレッジで大学と協力して提供した事業プログラム数	目標	—	30 事業	達成	33 事業
	実績	9 事業	30 事業		

現状と課題

- 子どもたちが、地域の中でより専門的で幅広い学びの機会を得られるよう、地区内にある3大学（東海大学、北里大学、明治学院大学）とのさらなる連携協力が必要です。
- 地域でのつながりの希薄化によって身近な相談相手がないこと、また核家族化により子育ての知恵や経験の継承が少なくなることなどにより、育児の孤立化が起これ、子育てに不安を抱える保護者が多くなっています。さらに、コロナ禍等により、祖父母の支援が得られなくなるなど、在宅子育て家庭の孤独感や負担感は増加傾向にあります。
- 保護者の不安を解消するとともに、保護者同士が交流し、身近に相談できる体制を整備することで、地域全体で子育てや子育てを支援する環境づくりが必要です。
- 高輪地区では、地域団体とその地域団体と交流のある自治体が連携し、子どもが普段体験できない「自然体験」や「地域伝統文化」とのふれあいの機会を創出しています。



子育て相談・交流会



たかなわ子どもコミュニティカレッジ



主な取組

① たかなわ子どもコミュニティカレッジ

高輪地区内の大学と連携し、それぞれの専門性を生かした事業プログラムや講座などを地区内施設で開催して、子どもたちに専門性の高い学びの機会を提供することで、子どもと大学生の双方にとって、働きがいのある仕事や起業に必要な技術につながるよう、将来に向けての夢やきっかけをつくります。また、地区内の大学生が、出張講座や出張遊びとして、地区内施設や地域イベントなどに出向くことで、子どもたちや地域の方々と交流できる機会を設けます。

全体計画目標 令和8 (2026)年度末	現状 令和5 (2023)年度見込	年次計画（スケジュール）			
		令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	計
多世代間交流、大 学連携の推進	東海大学、北里大学、 明治学院大学でのコ ミュニティカレッジの 実施	3大学でのコミュ ニティカレッジの 実施、学びの機会 の拡大手法の検討	3大学でのコミュ ニティカレッジの 実施	3大学でのコミュ ニティカレッ ジの実施	3大学でのコミュ ニティカレッ ジの実施
事業費（千円）		7,011	7,261	7,520	21,792

② 高輪ほっとひといき子育て支援事業（愛称：COCO）

乳幼児を持つ保護者が安心して子育てに取り組めるよう、地域全体で子育てや子育てを支援することを目的として、身近な地域に子育ての相談や保護者同士の交流ができる場をつくります。

また、育児相談や交流会を実施し、地域の身近な場所で専門家に相談できる仕組みをつくるとともに、地域の関係機関と連携します。地域の中での仲間づくりや保護者同士の交流を促進することで、孤立することなく安心して子育てできる環境づくりを進めます。

全体計画目標 令和8 (2026)年度末	現状 令和5 (2023)年度見込	年次計画（スケジュール）			
		令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	計
安心して子育てで できる環境づくり	相談・交流会の 実施	相談・交流会の 実施	相談・交流会の 実施	相談・交流会の 実施	相談・交流会の 実施
事業費（千円）		5,607	5,607	6,688	17,902

愛称：COCO の由来

「CO」は、「ともに」を意味する接頭語で、「子(CO)ども」と「子(CO)ども」、その保護者同士がつながるよう、地域で子育てを支援することをめざして名付けました。

③ 連携自治体とのつながりを生かした子どもへの体験機会の創出

高輪地区の町会・自治会や商店会と親交のある自治体を実施しているイベントに地域の子どもたちが参加し、港区では経験できない「自然とのふれあい」や「伝統文化の交流」等を体現します。

今後も全国の自治体との連携に取り組み、子どもの視点に合わせた新しい交流事業を展開します。

〈高輪地区の連携自治体との取組〉

●山形県庄内町

白金プラザ会で実施している「天の川蛍祭」で港区の子どもたちに本物のゲンジボタルを鑑賞する機会の提供

●徳島県阿南市

白金北里通り商店会で実施している「白金阿波踊り」を交流の場として、本場の阿波踊りの体験

●茨城県銚田市

三田台町会で実施している「さくら祭り」等で物産展を開催することで、地域色豊かな食文化にふれる機会の提供

関連計画等

- ・港区子ども・子育て支援事業計画（主な取組①②）
- ・港区生涯学習推進計画（主な取組①）
- ・港区男女平等参画行動計画（主な取組②）

※関連計画等の詳細は、右の二次元コードからご確認いただけます。





施策 (2) 高齢者が過ごしやすいまちをつくる

目標・期待する成果

高齢者が生きがいを持って元気に暮らせるように、活動・活躍の場を創出するとともに、地域の中で高齢者を見守る環境づくりを進めます。

SDGs との関係



成果指標

成果指標名	前期の成果			計画目標値	
	区分	当初	中間（見込）		最終
		令和2 (2020)年度	令和5 (2023)年度	達成 状況	令和8 (2026)年度末
チャレンジコミュニティ大学の修了生が地域活動をしている割合*	目標	—	84.0%	未達成	86.4%
	実績	77.5%	73.1%		

※令和5(2023)年度実績(見込)を踏まえ、計画目標値を下方修正しました。

現状と課題

- 区では、地域の高齢者が健康で自分らしく元気に暮らしていくために必要な、介護予防や在宅介護、認知症支援等の多様なニーズに対応した様々なサービスを展開しています。
- 区の事業や福祉施設で提供しているサービス等の情報を積極的に発信し、ニーズにあったサービス等への参加、利用につなげることが必要です。
- 健康寿命の延伸により長寿社会を迎えた中で、高齢者が生きがいを持っていきいきと暮らしていくために、これまで培った知識や経験を生かせる地域活動への参加を促す必要があります。
- コロナ禍で、高齢者の外出頻度が減少し、地域との交流機会が減りました。アフターコロナに向けて、元気に高齢者が過ごすため、コロナ禍以前の交流機会に戻していく取組が求められています。

成果指標に関する分析

【チャレンジコミュニティ・クラブ顧問 明治学院大学 河合克義名誉教授のコメント】

「チャレンジコミュニティ大学の修了生が地域活動をしている割合」の令和5(2023)年度の実績については、「チャレンジコミュニティ・クラブ 2023 年活動実態調査」の回答結果をもとに算出しています。回答者は、チャレンジコミュニティ大学の第1期から第15期の修了生です。

設問は、「地域活動、社会福祉活動を現在しているかどうか」、回答結果は、「活動している」が63.5%、「現在は活動していないが、コロナ禍以前は活動していた」が9.6%、「活動していない」が25.7%となっています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、地域活動に大きな制約をもたらしました。当初は、地域活動だけでなく対面の会議も制限されました。チャレンジコミュニティ・クラブにも大きな影響を与えました。

しかし、クラブの役員を中心に、リモートでの通信手法をいち早く学び、その技術を習得してきました。そのおかげで、コロナ禍以前に活動していた人で、活動を控えていた人ともつながりを維持してきました。このつながりが、いま地域活動、クラブの諸活動に復帰している会員の増加をもたらしています。

私は、「活動している」が6割強の人と「現在は活動していないが、コロナ禍以前は活動していた」1割の人も加えて、全体の7割強(73.1%)が、地域活動、社会福祉活動につながっていると考えています。

主な取組

① チャレンジコミュニティ大学、チャレンジコミュニティ・クラブ

高齢者が、学習を通じて個々の能力を再開発し、地域との関わりの中で自らが生きがいのある豊かな人生を創造できるよう、「チャレンジコミュニティ大学」を実施します。在学中から地域活動への積極的な参加を促すとともに、その修了生で組織する「チャレンジコミュニティ・クラブ」の活動を支援します。また、「チャレンジコミュニティ・クラブ」のメンバーと子どもとの交流など、多世代間交流を支援します。

チャレンジコミュニティ大学（CC大学）

チャレンジコミュニティ大学は、区と明治学院大学が連携し、平成 19（2007）年に開設しました。高齢者等を対象に、学習を通じて個々の能力を再開発し、自らが生きがいのある豊かな人生を創造するとともに、その知識及び経験を生かし、地域の活性化や地域コミュニティの育成に積極的に活躍するリーダーを養成しています。



明治学院大学での講義



校外授業（自然散策）

チャレンジコミュニティ・クラブ（CCクラブ）

チャレンジコミュニティ大学修了生の情報交換、資質の向上、地域活動の推進などを目的とした組織で、会員が自主的に運営しています。



コミュニティ・カフェ高輪



昔遊び継承活動



② 高齢者のセーフティネットワークの充実

高齢者の孤立を防ぎ、地域での見守りを支援することを目的として、高齢者支援連絡会^{※1}などを通じて、地域の区民、ふれあい相談員^{※2}、高齢者相談センター^{※3}、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、警察署、消防署、病院等が相互に連携した地域におけるセーフティネットワークを充実させます。

また、認知症の方やその同居家族が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう支援します。

- ※1 高齢者支援連絡会：高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、地域で活動する様々な団体及び関係機関と区との連携を図り、孤独死や虐待の防止、認知症に関する普及・啓発などの総合的なセーフティネットワークを構築するため設置しています。
- ※2 ふれあい相談員：福祉の専門職員として積極的に地域に出向き、ひとり暮らし高齢者などを訪問し、高齢者の困りごとなどの相談を受け、必要な支援につないでいます。高齢者相談センター、民生委員・児童委員、町会・自治会、総合支所などとの連携のもと、高齢者を訪問するほか、地域の集まり、イベントなどに参加し、地域の方が気軽に相談できる関係性を築いています。
- ※3 高齢者相談センター：高齢者や介護をしている家族の総合的な相談・支援の窓口です。保健師、看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャーなどの介護・福祉・医療の専門家が介護予防に関する支援やケアマネジャーへの支援など総合的な相談を行うとともに、地域の高齢者支援のネットワークの拠点となっています。

③ 高齢者の健康・生きがいづくり

高齢者の活動拠点の一つであるいきいきプラザが、より安心して快適に楽しく利用できるよう、介護予防、健康づくり、地域交流などの多様な事業を展開するとともに、利用者の声を積極的に取り入れながら、適切に施設の管理運営を行います。

関連計画等

- ・港区地域保健福祉計画（主な取組①～③）
- ・港区生涯学習推進計画（主な取組①）

※関連計画等の詳細は、右の二次元コードからご確認いただけます。



分野別計画からの再掲事業（高輪地区）

港区基本計画・分野別計画と地区版計画書の関連や整合を図るため、港区基本計画・分野別計画に掲載されている主な取組のうち、高輪地区において実施する内容を掲載します。

放課後における児童の健全育成の推進 重点課題6 [5-(15)-①] P.227、P.386

内容	増加する学童クラブ需要に応えるため、学童クラブの弾力的な運営や施設の改善を行うほか、新規開設による定員拡大等に取り組みます。安全・安心な放課後の居場所を確保し、児童の心身ともに健やかな育ちを支援するため、学童クラブ事業の質の向上を図ります。				
活動指標	指標名	前期の実績			計画目標値
		区分	当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成 状況
	学童クラブ設置数 学童クラブ定員数 ※1	目標 実績	— 36クラブ 3,309人	37クラブ 3,479人 36クラブ 3,480人	未達成 37クラブ 3,643人
年次計画 (スケジュール)	前期(見込) 令和3(2021)～ 5(2023)年度	後期			計
	設置1クラブ 移行1クラブ	令和6(2024)年度 設置1クラブ (放課GO→学童クラブ みた)	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度 定員増1クラブ (放課GO→学童クラブ あかばね※2)	設置1クラブ 定員増1クラブ
事業費	8,564千円	—	—	—	—

※1 学童クラブ定員数は、定員を拡大するため、計画目標値を上方修正します。

※2 放課GO→学童クラブあかばねの定員増に伴う事業費(整備費)は、「学校施設の充実」の項(P.387)に計上しています。


 学校施設の充実 **重点課題6** 【5-(16)-⑤】 P.247、P.387

内容	学びのスタイルの変容が進む中で、より良い教育環境と安全・安心な教育施設を確保するため、新しい時代の学びを実現する学校施設のあり方にふさわしい校舎等を建設・増改築します。また、児童・生徒数の増加への対応や小学校全学年での35人学級の実現に向け、普通教室を計画的に増設します。				
	指標名	区分	前期の実績		計画目標値
			当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成 状況
活動指標	学校及び教室の整備数(教室は改修数を加算)※	目標	—	小学校19校 330教室 中学校10校 69教室	達成
		実績	小学校18校 319教室 中学校10校 70教室	小学校19校 343教室 中学校10校 70教室	
年次計画(スケジュール)	前期(見込) 令和3(2021)～5(2023)年度	後期			
		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計
	【幼稚園】 中之町幼稚園 完成(改築)				
	赤羽幼稚園 改築中	赤羽幼稚園			完成(改築)
	【小学校】 芝浜小学校 完成(建設)				
	赤羽小学校 完成(改築)				
	御田小学校 設計完了	御田小学校			改築中(令和10年度 完成予定)
	【中学校】 赤坂中学校 完成(改築)				
〈普通教室化改修〉 【小学校】 8校 24教室	御成門小学校 2教室 芝小学校 1教室 白金小学校 1教室 東町小学校 1教室	赤羽小学校 1教室	赤羽小学校 3教室	5校 9教室	
【中学校】 —	六本木中学校 1教室	六本木中学校 1教室	港南中学校 1教室 六本木中学校 1教室	2校 4教室	
事業費	26,185,273千円	5,303,876千円	1,551,417千円	1,850,806千円	8,706,099千円

※ 令和5(2023)年度における児童数・生徒数推計及び小学校の35人学級への対応を踏まえ、計画目標値について、小学校の教室数を332教室から352教室に上方修正するとともに、中学校の教室数を75教室から74教室に下方修正しました。

学校の情報化の推進 重点課題7 [5-(16)-⑤] P.247、P.388

内容	国のGIGAスクール構想を踏まえ、児童・生徒に1人1台配備したタブレット端末を活用し、子どもたちの資質・能力を確実に育成する教育を推進します。特に、デジタル教科書の利活用をはじめ、ICT機器を最大限活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ります。				
活動指標	指標名	前期の実績			計画目標値
		区分	当初	中間(見込)	達成状況
		令和2(2020)年度	令和5(2023)年度		令和8(2026)年度末
	児童・生徒用デジタル教科書の活用教科数※	目標	—	小学校2教科 中学校5教科	未達成
実績	—	小学校4教科 中学校4教科			
年次計画(スケジュール)	前期(見込)	後期			
	令和3(2021)～5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計
	児童・生徒用デジタル教科書の活用(小学校4教科・中学校4教科)	小学校4教科(国・社・算・英) 中学校4教科(国・社・数・英)	小学校4教科(国・社・算・英) 中学校5教科(国・社・数・英・理)	小学校4教科(国・社・算・英) 中学校5教科(国・社・数・英・理)	デジタル教科書 小学校4教科 中学校5教科 活用
事業費	74,539千円	29,715千円	33,428千円	33,428千円	96,571千円

※ 小学校における活用教科数については、令和2(2020)年度に設定した2教科を上回り、4教科を達成する見込みのため、計画目標値を上方修正しました。


 保育定員の適正な管理 重点課題 6 [5-(17)-①] P. 253、P. 389

内容	区内保育施設の定員に空きが生じている状況を踏まえ、待機児童ゼロを継続しつつ、可能な限り保育施設の定員に対する空きを縮減できるよう、保育需要に見合った、保育定員の適正な管理に取り組みます。なお、認可保育園を補完する役割を担っている港区保育室については、周辺の保育施設の空き状況などを精査しながら、将来的な終了を視野に入れた定員設定を進めます。					
	指標名	区分	前期の実績		達成状況	計画目標値
			当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度		令和8(2026)年度末
活動指標	区立認可保育園数※	目標	—	22園	達成	22園
		実績	21園	22園		
	私立認可保育園数※	目標	—	66園	未達成	70園
		実績	56園	62園		
	認定こども園数※	目標	—	1園	達成	1園
		実績	1園	1園		
	小規模保育事業所数※	目標	—	12園	未達成	10園
		実績	12園	10園		
	港区保育室数※	目標	—	11園	達成	9園
		実績	13園	10園		
	認証保育所数※	目標	—	19園	未達成	17園
		実績	19園	17園		
	保育定員※	目標	—	9,763人	未達成	8,820人
		実績	9,033人	8,664人		
年次計画(スケジュール)	前期(見込) 令和3(2021)～ 5(2023)年度	後期			計	
		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度		
	私立認可設置8園 閉園2園	私立認可設置4園	私立認可設置2園	私立認可設置2園	私立認可設置8園	
保育定員8,664人	保育定員8,532人	保育定員8,667人	保育定員8,820人	保育定員8,820人		
事業費	1,788,146千円	441,544千円	591,334千円	220,772千円	1,253,650千円	

※ 計画目標値については、小学校就学前の子どもの人口減に伴う保育需要の減少に合わせ、既存の認可保育園等に空きが出ないことを考慮した施設数及び保育定員に変更しました。

概要

各総合支所では、地域特性や区民のニーズを区政に反映し、地域の課題は地域で解決する仕組みとして区民参画が進められています。区民と区が地域情報や区政情報を共有し、地域課題や区の計画をともに考え、取り組みます。

主な取組

① 参画と協働の推進

高輪地区総合支所はこれまで、区民と顔の見える関係を築き上げ、地域の課題解決に向けた活動をともにを行い、地域の魅力をさらに高める事業の実施に取り組んできました。これからも、区民、事業者、大学、全国各地域など的高輪地区内外との連携を深め、年齢、性別、国籍などにかかわらず、多様な立場の人とともに、高輪地区がめざすまちの姿の実現に向けて、創意工夫をもって積極的にチャレンジしていきます。

② 効果的な情報発信

必要な人に分かりやすい形で区や地域の情報が届くように表現を工夫し、区ホームページ、デジタルサイネージ、SNS、広報紙など、区が持つ媒体に加え、地域が持つ広報媒体にも働きかけ、様々な方法により提供します。

また、高輪地区の保育園、幼稚園、小・中学校や児童館、福祉施設等の情報を、幅広い世代の人々にPRする場として、区立公園などに設置した掲示板「たかなわみんなのおしらせばん」を活用します。

③ アフターコロナに向けた事業運営

新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン会議の開催が増加しました。アフターコロナに向けて、引き続きオンラインを活用した事業の実施など、事業の性質に応じて、開催及び運営の方法を検討します。

関連計画等

- ・港区男女平等参画行動計画（主な取組①）
- ・港区DX推進計画（主な取組②③）

※関連計画等の詳細は、右の二次元コードからご確認いただけます。





分野別計画からの再掲事業（高輪地区）

港区基本計画・分野別計画と地区版計画書の関連や整合を図るため、港区基本計画・分野別計画に掲載されている主な取組のうち、高輪地区において実施することが明記されている内容を掲載します。

いつでもどこでも手続きができる環境の整備 重点課題7 [(24)-①] P. 329、P. 392

内容	来庁しなくても、いつでもどこでも、分かりやすくオンライン上で必要な申請や相談等ができる環境を整備します。				
活動指標	指標名	前期の実績			計画目標値
		区分	当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成 状況
	行政手続全体に占めるオンライン申請が可能な手続の割合		目標 —	75 %	達成
	実績 4 %	100 %		100 %	
年次計画(スケジュール)	前期(見込) 令和3(2021)～ 5(2023)年度	後期			
		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計
	75 %	100 %	100 %	100 %	100 %
事業費	85,666 千円	31,426 千円	32,086 千円	29,753 千円	93,265 千円

※ 法令等によりオンライン申請に制約がある手続について、制約の緩和（解除）の状況を踏まえ、順次、オンライン化することにより、オンライン申請が可能な手続の割合100%の状態を維持していきます。

白金台いきいきプラザ等複合施設大規模改修工事 重点課題6 [(26)-④] P. 357、P. 393

内容	白金台いきいきプラザ及び白金台児童館は、竣工から33年が経過し、設備が経年劣化しています。健全な建物として維持管理するため、「港区公共施設マネジメント計画」に基づく建築・電気・機械などの劣化改修を行うとともに、各施設の機能向上や更なる省エネ化を図ります。				
活動指標	指標名	前期の実績			計画目標値
		区分	当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成 状況
	施設の整備状況		目標 —	—	—
	実績 —	—	実施設計完了		
年次計画(スケジュール)	前期(見込) 令和3(2021)～ 5(2023)年度	後期			
		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計
	実施設計完了				完了
事業費	88,607 千円	932,700 千円	362,218 千円	1,049,794 千円	2,344,712 千円

參考資料

参考資料

1 高輪地区版計画書 改定経過

(1) タウンミーティング TAKANAWA「地区版計画改定支援グループ」による検討経過

高輪地区版計画書の改定に向けて、区民参画組織「タウンミーティング TAKANAWA 地区版計画改定支援グループ」において、高輪地区の現状や課題及びその解決策等について議論を行い、その結果を「港区基本計画・高輪地区版計画書見直しに向けた提言書」としてとりまとめ、令和5(2023)年3月に区に提出しました。

令和5(2023)年度は、区から高輪地区版計画書の改定経過や提言の反映状況等について報告しました。

●令和4(2022)年度

	開催日	概要
第1回	令和4年 4月14日(木)	○オリエンテーション 自己紹介、高輪地区版計画書の概要等
第2回	令和4年 5月12日(木)	○地域事業学習会 その1(かがやくまち)
第3回	令和4年 6月16日(木)	○地域事業学習会 その2(にぎわうまち・はぐくむまち)
第4回	令和4年 7月14日(木)	○高輪地区の魅力と課題について(かがやくまち)
第5回	令和4年 9月15日(木)	○高輪地区の魅力と課題について(にぎわうまち・はぐくむまち)
まち歩き	令和4年 10月1日(土)	○まち歩き
第6回	令和4年 10月20日(木)	○まち歩き報告 ○高輪地区の魅力を生かし、課題を解決するための今後の方向性の検討(かがやくまち)
第7回	令和4年 11月17日(木)	○高輪地区の魅力を生かし、課題を解決するための今後の方向性の検討(にぎわうまち)
第8回	令和4年 12月15日(木)	○高輪地区の魅力を生かし、課題を解決するための今後の方向性の検討(はぐくむまち)
第9回	令和5年 1月12日(木)	○提言書の作成に向けた検討(3分野に分かれて検討)
第10回	令和5年 2月16日(木)	○提言書の作成に向けた検討(3分野に分かれて検討)
提言式	令和5年 3月28日(火)	○区長に提言書を提出

●令和5(2023)年度

第1回	令和5年 11月16日(木)	○高輪地区版計画書(素案)の説明
-----	-------------------	------------------



(2) 高輪地区版計画書 庁内検討経過（高輪地区版計画書検討委員会）

高輪地区版計画書改定に当たり、総合支所内の総合的な調整を図るために設置しました。

	開催日	概要
第1回	令和5年 5月11日（木）	○昨年度の取組について ○今年度の検討体制について ○今年度の作業スケジュールについて
第2回	令和5年 7月18日（火）	○高輪地区版計画書の体系図について ○地域事業の検討状況について ○提言の反映状況について
第3回	令和5年 10月12日（木）	○高輪地区版計画書（素案）について ○提言の反映結果について
第4回	令和6年 1月16日（火）	○高輪地区版計画書（案）について ○区民意見の反映結果について

(3) 港区基本計画・高輪地区版計画書に関する区民意識調査

●調査対象 港区高輪地区内に住民登録する 満18歳以上の方	●調査方法 郵送配布、郵送・WEB回収
●調査対象数 1,500 標本	●調査期間 令和5年1月11日（水）～31日（火）
●対象の抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出	●回収数 391 件
	●回収率 26.1%
●調査項目 「ご自身について」：年齢、国籍、職業、居住地域、家族構成、居住形態、居住年数、住みやすさ、定住意向、お勧めしたい場所、高輪地区の魅力・課題 「高輪地区の事業について」：地区版計画書の認知度、区民参画組織の認知度、政策と施策の状況（重要度・満足度）、地域事業の状況（認知度・期待度・重要度）、地域事業への参画意向、地域活動等への参画意向 「日常生活について」：地域交流について、高輪地区の防災訓練について、区や地域の情報について、高輪地区の地域情報紙について	 港区基本計画・高輪地区版計画書に関する区民意識調査報告

(4) 区民説明会及び区民意見募集

①説明会の日時・場所

令和5年11月18日（土）午後2時30分～	高輪区民センター
令和5年11月21日（火）午後7時00分～	白金台区民協働スペース

②区民意見募集期間（パブリックコメント）

令和5(2023)年11月11日（土）～12月11日（月）

2 港区基本計画・高輪地区版計画書改定に向けた提言

港区基本計画・高輪地区版計画書は、区民参画組織からの提言を踏まえて改定しました。各分野に対する提言と計画全般に関わる提言、合わせて28の提言をいただきました。



港区基本計画・
高輪地区版計画書
見直しに向けた提言書

課題解決の方向性 もっと分かりやすい防災情報発信を

提言1

既存の防災情報・システムの周知・活用

(例えば)

- ・住んでいる家が川の近くにあるのか、台地の上にあるのかなど、住む場所によって災害に関する意識が異なることをお互いに知るとともに、「津波ハザードマップ」、「液状化マップ」、「揺れやすさマップ」、「浸水ハザードマップ」、「土砂災害ハザードマップ」、「高潮浸水ハザードマップ」の6種類あるハザードマップの周知を徹底し、災害の種類別の細かな対応策を提示する。
- ・高輪地区には、細い路地や木造が密集しているところが多い。災害時、建物が倒壊すると消防車が入れなかったり、人が通行することもできなかったりする。このような危険があるということが分かるようなマップがあるとよい。
- ・自宅や避難所の各災害における危険性について、どのような状況にあるのか検索できるツールについて、その存在と利用方法を住民向けに周知する。
- ・避難所の収容人数や新型コロナウイルス感染症の感染対策を踏まえた1人当たりの避難スペース、防災設備などの既存の情報を区で整理、見直し、周知をはかり、区民の日頃からの災害時に向けた準備の参考とする。
- ・高輪地区の「防災安全確認カード」は、よい取組。是非周知し、誰もが利用できるようになってほしい。「助けて欲しい」という意思表示も加えた方がよいのではないか。

課題解決の方向性 もっと分かりやすい防災情報発信を

提言2

情報配信方法の改善

(例えば)

- ・古川の状況など地域限定の情報についても、知りたい人が情報取得できる仕組みをつくる。
- ・防災無線の内容を防災ラジオやデジタルサイネージ、青色パトロールなどでもフォローすると、無線放送が聞こえにくい人でも助かる。
- ・災害時の情報もデジタルサイネージで提供できるとよい。その際、最新情報や詳細情報なども入手できるよう、URLや二次元コードも表示したらよいのではないか。
- ・今後、高輪地区に来訪する外国人が増えると思うので、やさしい日本語や英語、中国語、韓国語などでも受信できるとよいのではないか。
- ・WEBやSNSでの配信方法を工夫し、「防災情報」だとはっきり分かるようにする。



反映内容 1

○防災意識の普及・啓発と防災情報の活用

各種ハザードマップの周知のほか、マップの活用方法、電子版ハザードマップの存在や使い方について、地域の防災訓練や総合防災訓練、地域防災協議会の会議などで紹介します。また、避難所の収容人数など防災に関する区の考え方については、地域防災協議会など地域住民が集まる場をとらえ、説明、周知を図ります。

反映内容 2

○防災意識の普及・啓発と防災情報の活用

古川の水位などが分かる港区防災情報メールや防災アプリなど、防災情報に関することをまとめたちらしを作成し、地域の防災訓練や総合防災訓練、地域防災協議会の会議などで周知を図ります。

○高輪情報局

高輪地区の区有施設等に設置しているデジタルサイネージを用いて、区内の水位・雨量情報、防災情報メール、ハザードマップ等の防災情報が掲載されている区ホームページの二次元コード等を表示した特集を組み、広く周知します。

課題解決の方向性 マンション防災支援の強化を

提言3 防災に関わるマンション住民の不安解消

(例えば)

- ・マンションでも、理事会、管理組合、防災住民組織等の団体が申請すると、防災対策のアドバイザーを派遣してもらえるなど、支援の仕組みの周知を強化し、利用を促進する。
- ・地域防災協議会にマンション住民も参加しやすい仕組みをつくる。
- ・住民に分かりやすい災害時のロードマップ（防災マニュアル）を作成し、その内容を周知することで、住民一人ひとりの防災や避難行動の意識啓発につなげたい。

課題解決の方向性 マンション防災支援の強化を

提言4 マンションと町会や地域団体との連携

(例えば)

- ・普段から、防災訓練を一緒に行うなど、マンション、町会・自治会、大学、企業等の横のつながりを大事にし、いざという時に備えたい。
- ・具体的には、マンション内にある防火用水などの防災設備について、何があるのか、どこの管轄なのか、いざという時に誰がどのように使えるのかなどをマンションと周辺町会等が話し合い、整理し、一緒に訓練するなど知識を共有しておくことが大事である。

課題解決の方向性 緑で地域コミュニティをもっと広げたい

提言5 緑を育てる活動を通じて地域の町会等との連携を深める

(例えば)

- ・「高輪みどりでつながるプロジェクト」のメンバーにワッペンや腕章を配布し、ボランティアで公共的な場所の緑化をメンバーがお手伝いできるようにする。
- ・高輪ゲートウェイ駅や品川駅周辺の再開発エリアの事業者と連携し、緑を育てる活動を広げたい。
- ・「高輪みどりでつながるプロジェクト」と町会・自治会、保育園、学校等の活動と連携すればコミュニティが広がる。
- ・中学校敷地内ではあるが、アジサイロードを花が咲く時期などの一定時間に誰でも歩けるようにしたらどうか。また、ライトアップをして周知してはどうか。
- ・現在は3階テラスで実施している活動を見直し、今後は、町会・自治会で管理する花壇、保育園の花壇、公共の敷地や私有の花壇等に種や苗木を配り、地域の人々と一緒に花を育てる。
- ・SNSに植物の写真等緑化に関する投稿をすると種や苗木がもらえるなど、インセンティブを設け、緑化に関する情報発信を地域と連携して行う。
- ・「高輪みどりでつながるプロジェクト」の活動報告をSNSで広く発信し、より多くの人に知ってもらうことも大事。発信する時はハッシュタグをつけるなど工夫をするとよい。



反映内容 3

○たかなわ防災コミュニティ向上プロジェクト ～地域とつながる マンション防災～
地域のマンションに出向き、居住者等に防災に関する知識や自助・共助意識の普及・啓発を行います。マンション内での顔の見える関係性を築き、災害時に助け合うことができるように支援します。

反映内容 4

○たかなわ防災コミュニティ向上プロジェクト ～地域とつながる マンション防災～
地域のマンションに対して、地域防災協議会や町会・自治会の防災活動について紹介し、参加を促します。お互いを知り、関係性を構築するきっかけを作ります。

○町会・自治会・マンション交流活性化プロジェクト
～地域がつながる たかな輪コミュニティ～
町会・自治会、マンションとプロジェクトチームをつくり、協働でイベントを実施し、相互交流を推進します。協働イベントの実績を重ね、高輪地区に事例を広げていきます。

反映内容 5

○高輪みどりでつながるプロジェクト
高輪コミュニティーぷらざ5階入り口広場の既設の花壇を利用して、おしゃれなコミュニティガーデンをプロジェクトメンバーが中心となり作ります。来庁者が見て楽しめ、自分も整備に加わりたいと思えるようなコミュニティガーデンをめざします。整備時はメンバーにプロジェクトのネックストラップや腕章をつけてもらい、来庁者や町会・自治会にもアピールし、参加者を募っていきます。

アジサイの開花時には、高松中学校の安全面に配慮し、人を配置して時間限定で一般開放します。開放することにより、町会・自治会の人や一般の人にも高松の森で育つアジサイの魅力を知ってもらい、アジサイロードの整備への参加を呼び掛けていきます。また、地元の学生や児童、園児にもお手伝いいただき、地元のみんなでアジサイを育てる気運を高め、高輪の名所にしていきます。

課題解決の方向性 緑で地域コミュニティをもっと広げたい

提言 6

緑のアドバイザー派遣

(例えば)

- ・公園の植栽など町会・自治会でも草花の栽培を行っているので、「高輪みどりでつながるプロジェクト」から、メンバーを派遣したり、専門の業者を派遣して、育て方のアドバイスを行ったりしたらどうか。

課題解決の方向性 緑で地域コミュニティをもっと広げたい

提言 7

みどりの散策マップの活用

(例えば)

- ・「みどりの散策マップ」をデジタル化するなど、もっと周知する。
- ・カテゴリ別の詳細版を作成するなど、既存マップをブラッシュアップする。
- ・散策マップを見ながら歩く際、ポイントごとに説明板をつけ、二次元コードで詳細を閲覧できるようにする。
- ・区が提供するWi-Fiマップも一緒に記載するとより便利になる。

課題解決の方向性 住民・来街者ともにマナーの向上を

提言 8

自転車マナーの向上

(例えば)

- ・自転車ナビマークを、まだ設置されていない道路に増設し、自転車の走行位置やマナーの周知を図る。
- ・自転車マナーの啓発活動を強化する。

課題解決の方向性 住民・来街者ともにマナーの向上を

提言 9

変化する時代に即したルール、マナー啓発を

(例えば)

- ・電動キックボードの歩道利用や歩きスマホなど、新しい問題とそれを改善するルールをつくらないと危ない。社会が激変しているので、地域で共有するルールも常に更新していきたい。
- ・外国人向けに、やさしい日本語や英語、中国語、韓国語などでマナー啓発を行う。
- ・高輪発のルールとして、歩きスマホ禁止に関するマークを作成し、公共の場所に貼る。
- ・事業者と連携して、まちの安全確保やマナーの向上に努める。



反映内容 6

○高輪みどりでつながるプロジェクト

緑を育てている町会・自治会、保育園などの希望者に、緑の専門家のアドバイザーを派遣し、緑の育て方の疑問や管理方法について、アドバイスします。また、それを縁に派遣先の団体等とメンバーの交流につなげていきます。

反映内容 7

○高輪みどりでつながるプロジェクト

みどりの散策マップは区ホームページに載せ、プロジェクトで取り組んでいるお花の鑑賞スポットなども追加していき、プロジェクトの取組も周知しつつ、プロジェクトのイベント等でもPRしていきます。

反映内容 8

○安全で快適な自転車利用等の推進

高輪地区生活安全・環境美化協議会（自転車・バイク対策専門部会）の活動で、高輪管内にある駅や駐輪場等において、自転車マナー向上・啓発活動に取り組んでいます。また、児童館や地域のイベントで自転車の乗り方講座（自転車シミュレーター）を実施しています。

今後、保育園や幼稚園と連携し、保護者向けの啓発を強化していきます。さらに、自転車損害賠償保険への加入促進や、自転車用ヘルメットの助成制度について周知していきます。

反映内容 9

○安全で快適な自転車利用等の推進／多様な来街者に向けたルールやマナー啓発活動の推進

高輪地区生活安全・環境美化協議会の活動への参加団体を増やすとともに、外国語版やさしい日本語によるちらしでの啓発を行っていきます。新たなモビリティである電動キックボードについて、安全で快適な利用の啓発を警察の協力のもと行っていきます。

課題解決の方向性 町会・自治会・マンション等の地域での交流を進めたい

提言 10 イベントをきっかけとした緩やかなつながりを

(例えば)

- ・季節ごとのイベント（ハロウィン、餅つき大会等）を毎年続けて、町会・自治会とマンションとの緩やかな相互交流の機会をつくる。
- ・防災、お祭り、ラジオ体操等、住民の関心が高いイベントを繰り返し開催する。
- ・地域の様々な人々がつながる、緩やかで新しいネットワーク形成の仕組みをつくる。

課題解決の方向性 町会・自治会・マンション等の地域での交流を進めたい

提言 11 成功事例の情報共有・周知を

(例えば)

- ・高輪地区では、マンション同士や町会・自治会との交流、近隣の保育園との連携など、既に様々なつながりを構築した事例（防災訓練等）がある。それらの事例を他の地域にも伝えたらどうか。

課題解決の方向性 町会・自治会の担い手を育てたい

提言 12 若い世代の加入促進と担い手としての育成を

(例えば)

- ・高輪地区で実施されている様々なイベントは、実は町会・自治会主催で開催しているということを、若い人たちにアピールし、参画意欲を高める。例えば、お祭り、餅つき大会、防災や緑化の地域イベントなどへ気軽に企画段階から参加できるようにしたらどうか。
- ・若い世代が集まって気軽に話ができるコミュニティの場をつくる。
- ・マンション住民や新しい住民に対して町会・自治会の活動を知る機会をつくる。



反映内容 10

○町会・自治会・マンション交流活性化プロジェクト

～地域がつながる たかな輪コミュニティ～

町会・自治会、マンションとプロジェクトチームをつくり、協働でイベントを実施し、相互交流を推進します。また、新しいネットワーク形成のため、「地域の「潤滑油」となる講座」やイベントを通じて、町会・自治会に関わるきっかけづくりを行っていきます。

反映内容 11

○町会・自治会・マンション交流活性化プロジェクト

～地域がつながる たかな輪コミュニティ～

町会・自治会、マンションとプロジェクトチームをつくり、協働でイベントを実施し、相互交流を推進します。協働イベントの実績を重ね、高輪地区に事例を広げていきます。

反映内容 12

○町会・自治会・マンション交流活性化プロジェクト

～地域がつながる たかな輪コミュニティ～

「地域の「潤滑油」となる講座」の中で、受講生に町会・自治会の開催するイベントへ参加する機会を作り、担い手育成に取り組みます。また、町会・自治会が実施する行事に人材面で支援を行います。近隣大学のボランティアサークルや高輪在住、在勤者等を募集し、地域イベントなどへ気軽に参加できるような仕組みを作ります。

課題解決の方向性 高輪地区の情報について、興味あるテーマをまとめて知りたい

提言 13 テーマごとに整理した高輪地区の情報の発信

(例えば)

- ・高輪地区に関わる既存情報（イベントや講座等）について、テーマごと（防災、緑、環境美化等）に整理して発信してはどうか。
- ・そのような取組により、点で行われていた活動が面的につながり、同じ活動に興味を持つ人同士が知り合い、テーマごとのコミュニティが育つ可能性が出てくる。
- ・高輪地区の情報紙や町会・自治会のお知らせなどは、発信者が扱う情報を発信者ごとにまとめて出していることが多い。デジタル化するなど、多くの情報の中から、興味のある情報を選択しやすくしてはどうか。

課題解決の方向性 もっとデジタルサイネージを見て、活用してもらいたい

提言 14 設置場所の改善を

(例えば)

- ・スーパー、駅、銀行、大学等、様々な人が集まる場所に設置する。

課題解決の方向性 もっとデジタルサイネージを見て、活用してもらいたい

提言 15 配信情報が目を引くような工夫を

(例えば)

- ・高輪情報局のキャラクターが情報をしゃべるように見せる。
- ・画面の下部にキャプション（字幕）をつける。
- ・天気予報やクイズを入れる。
- ・既存の紙媒体のコンテンツも配信する。例えば、「お地藏さん、お稲荷さん、さん歩マップ」をデジタル化して配信したらどうか。

課題解決の方向性 もっとデジタルサイネージを見て、活用してもらいたい

提言 16 配信情報の作成・提供方法の多様化を

(例えば)

- ・区民メンバー（「地域の「潤滑油」となる講座」の卒業生等）が関心を持つ具体的なテーマ（地元のお祭りやお店等）を設定し、取材してコンテンツを作成する。
- ・自分が知りたい情報が出て来るまで待たなくてもよいように、デジタルサイネージで発信する情報を区ホームページや X（旧 Twitter）でも発信し、スマートフォンやパソコンでも閲覧できるようにする。
- ・双方向のタッチパネル式のデジタルサイネージを試験導入し、欲しい情報を選択できるようにする。



反映内容 13

○高輪情報局

情報を防災、緑、環境美化等のテーマにまとめ、各テーマにちなんだ日に特集形式でデジタルサイネージを用いて発信します。デジタルサイネージで、デジタル化されている紙媒体の紹介コンテンツを配信し、二次元コードを活用し、興味のある情報にアクセスできるようにします。

○私が語る高輪今昔物語

まち歩きルートマップや動画、出前講座資料や動画等、メンバーがこれまで取り組んできた成果を、新しいホームページ、SNS等で発信します。SNSはハッシュタグを活用し、興味のあるテーマを探しやすくします。

反映内容 14

○高輪情報局

高輪コミュニティぷらざ1階の出入り口にブラインドを設置し、プロジェクターを使用してコンテンツを投影するなど、活用する媒体を増やし、広く情報発信を行います。

反映内容 15

○高輪情報局

キャラクター、字幕、クイズ、天気予報、ニュース入りのコンテンツを作成し、配信します。また、既存の紙媒体のコンテンツをデジタル化し、配信します。

反映内容 16

○高輪情報局

デジタルサイネージに配信するテーマ等について区民にアンケートを取り、意見を広く聴取します。デジタルサイネージで発信した情報を区ホームページやSNS等で掲載したり、デジタルサイネージの画面内に目次を入れるなど、閲覧者が待たずに必要な情報を得られるようにします。また、情報を選択できる双方向型のタッチパネル式デジタルサイネージの導入を検討します。

課題解決の方向性 高輪地区の歴史や名所をもっとアピールしたい

提言 17

案内表示の工夫など

(例えば)

- ・高輪地区には多くの歴史的名所がある。住民や来街者にもっとアピールできるように、案内表示を工夫し、例えば二次元コードから詳しい説明を得られるような仕組みをつくる。
- ・ボストンのフリーダムトレイルのように、道路の線をたどることで名所を周遊できるようにしてはどうか。

課題解決の方向性 高輪地区の歴史や名所をもっとアピールしたい

提言 18

高輪地区にまつわる書籍や民間情報の活用

(例えば)

- ・高輪地区の情報紙以外にも、高輪地区を紹介する書籍や民間情報が多くある。港区に多くある坂の情報を紹介した書籍などを区民へ積極的に紹介し、高輪地区の良さを広めたい。

課題解決の方向性 高輪地区の歴史的・文化的魅力を多くの人に伝えたい

提言 19

「私が語る高輪今昔物語」に新たな切り口を

(例えば)

- ・写真ストックのアーカイブ化に加えて、これまでと異なる切り口や視点を入れてはどうか。例えば、テーマ別（「坂」「寺」「駅」「学校」「〇〇時代」「子どもの遊び」等）に整理する。
- ・閲覧するターゲット層別（年齢、国籍等）、展示する場所別（小学校、大学の学園祭、いきいきプラザ等）に写真を分類・提供できるようにする。
- ・高輪地区を良く知る方にヒアリングし、それを書き起こして記録するとともに、写真にストーリー性を加えて発信する。

課題解決の方向性 高輪地区の歴史的・文化的魅力を多くの人に伝えたい

提言 20

「私が語る高輪今昔物語」の発信力の強化を

(例えば)

- ・SNSやデジタルサイネージでの発信を強化する。
- ・写真のキャプションなどを多言語化する。
- ・区ホームページ上のデータを検索しやすく改善する。
- ・クリーンアップキャンペーン（清掃活動+文化財巡り）など、高輪地区内の活動とコラボレーションするのもよい。



反映内容 17

○高輪情報局

区ホームページ上で公開されている観光マップ等をSNSやデジタルサイネージで定期的に紹介し、どこでも観光情報が容易に入手できるようにします。

反映内容 18

○私が語る高輪今昔物語

区民メンバーが勧める高輪地区に関する書籍等を紹介する「高輪今昔物語ライブラリー」をホームページ上に開設します。また、デジタルサイネージ、SNS等の多様な媒体で発信します。

反映内容 19

○私が語る高輪今昔物語

新しいホームページを作成し、テーマ別のカテゴリーや、時代を詳細に区切ったカテゴリーに分けるなど、写真ストックのアーカイブにこれまでと異なる切り口や視点を入れて整理し発信します。また、写真にストーリー性を加え、より興味を持ってもらえるような内容にします。

反映内容 20

○私が語る高輪今昔物語

これまで集めた写真等について、デジタル化、キャプションの多言語化、データの検索方法の改善など、様々なターゲット層が情報を得やすいように工夫します。また、まち歩きルートマップ等、メンバーのこれまで取り組んできた成果をテーマ別に整理して、新しいホームページ、デジタルサイネージ、SNS等様々な媒体で発信します。また、高輪地区内の活動とコラボレーションし、活動の場を広げ、活動を周知していきます。

課題解決の方向性 SNSの発信力を高めたい

提言 21 高輪地区総合支所のTwitter フォロワー数を伸ばす

(例えば)

- ・高輪地区からの発信を広げるスキルがある人とつながる。
- ・高輪地区に関係する情報を意識的にリツイートし、多くの人の目に触れるようにする。
- ・フォロワーになるきっかけや仕組み作りの一つとして、ハッシュタグ付きの「つぶやきキャンペーン（賞品付き）」を開催する。
- ・SNS活用の際には、ハッシュタグ（#（ハッシュマーク））を活用する。

課題解決の方向性 大学と連携した世代間交流などの機会を充実させたい

提言 22 子どもや学生の声の反映を

(例えば)

- ・主に子どもの声（楽しかった内容やこれから体験したいことなどの希望やニーズ）を把握するため、参加した子どもへのアンケートの回数を増やす。
- ・ヒアリングなどで子どものニーズをしっかりと聞き取り、近隣の児童館等と情報共有を行い、お互いに興味をもつコンテンツを柔軟に計画、実施したらどうか。
- ・学生が事業に参加するインセンティブを高められるように大学側に働きかけてはどうか。

課題解決の方向性 大学と連携した世代間交流などの機会を充実させたい

提言 23 大学の持つ知的資源などの活用を

(例えば)

- ・各大学の知的・人的資源や設備を活用した専門的なプログラムなどを提供してはどうか。

課題解決の方向性 安心して子育てできる環境を向上させたい

提言 24 親子のニーズリサーチの強化・反映を

(例えば)

- ・高輪地区の小児科の病院や防災訓練、図書館の読み聞かせ会など、近隣の親子で訪れる場が区が出向いて、乳幼児のいる世帯の困りごとや知りたいこと（例：子育ての仲間づくり、子ども服などのおさがりなど）、及び相談方法等のニーズを把握し、事業に反映させる。



反映内容 21

○歩いて楽しめる地域の魅力発見・共有・発信

地域事業等、全ての事業の情報を積極的に配信します。ハッシュタグの活用に加えて、投稿を読むきっかけとなるようなタイトルやキャッチコピーをつけたり、明るく見やすい画像を掲載するなど、工夫して発信します。

反映内容 22

○たかなわ子どもコミュニティカレッジ

プログラム企画の検討に当たっては、参加児童や大学生のアンケートのほか、参加児童の保護者や他の子ども施設でのアンケート結果なども参考にしながら、大学の持つ専門性等が活用できるプログラムを、大学と連携して実施します。

反映内容 23

○たかなわ子どもコミュニティカレッジ

高輪地区内の大学と連携し、それぞれの専門性を生かした事業プログラムや講座などを高輪地区内の児童館等で開催します。

反映内容 24

○高輪ほっとひといき子育て支援事業（愛称：COCO）

親子ニーズの把握について、参加者だけではなく広く意見をうかがうために、電子申請を活用したアンケートを実施します。

課題解決の方向性 安心して子育てできる環境を向上させたい

提言 25

パパをターゲットとした相談強化を

(例えば)

- ・「子育て中のパパ、集まれ！！」など、事業の時間帯を多様化し、パパが参加しやすい事業にしてはどうか。パパだからできるポジティブな育児情報の提供をするとよい。
- ・高輪地区内の企業等と連携し、企業へ出向いてパパ向け講座を実施してはどうか。

課題解決の方向性 安心して子育てできる環境を向上させたい

提言 26

参加方法と広報の改善を

(例えば)

- ・徒歩圏内の子育て仲間ができることをアピールする。
- ・リモート参加を可能にするなど、もっと開催回数を増やし、参加機会を広げる。
- ・事前予約や人数制限を緩和し、当日参加も可能なようにする。
- ・高輪地区で実施している子育て支援事業の開催の概要（時間帯や内容、参加者など）が分かるような広報をすると、参加者が増えるのではないか。もっと事業内容の周知をするとよい。
- ・母子手帳交付の際に、高輪地区の子育て支援事業について周知する。出産後のフォローに関する情報を提供すると不安が和らぐことがある。
- ・外国籍住民にも分かりやすく周知するため、ひらがなを使うなど「やさしい日本語」や英語でちらしを作成してはどうか。まずは、事業を知ってもらい、通訳ができる友人と参加してもらうことなどから始めて、徐々に多言語対応できるようにしていく。

課題解決の方向性 住民と地域内大学がつながりたい

提言 27

地域の大学と連携した住民の居場所づくり

(例えば)

- ・現状のチャレンジコミュニティ大学は明治学院大学で行われている。たかなわ子どもコミュニティカレッジは東海大学と連携して実施している。
- ・明治学院大学、東海大学、北里大学のそれぞれの強みを更に生かしたい。例えば、明治学院大学は福祉、東海大学は情報化、北里大学は薬学などの強みがある。大学と地域が連携しつつ、子どもや高齢者の居場所の拡大をはかり、それぞれの強みに関する分野における知恵を借りる機会をつくりたい。

課題解決の方向性 コロナ禍で縮小した地域の交流の機会を充実させたい

提言 28

多世代参加の居場所づくりを

(例えば)

- ・色々な世代や立場の人が参加できる様な働きかけをする。
- ・具体的には、大学のサークルや運動部が子どもに得意分野を教えたり、昔遊びや将棋、碁、コマ回し等が得意な大人が子どもと一緒に遊ぶなどの活動を行う。



反映内容 25

○高輪ほっとひといき子育て支援事業（愛称：COCO）

父親向けの講座を新たに開催し、父親だからこそその悩みを共有できる場を創出するとともに、開催時間は平日の夜間や休日など多様化し、参加しやすい環境を整えます。

反映内容 26

○高輪ほっとひといき子育て支援事業（愛称：COCO）

令和4年度から休日、夜間でも受付可能な電子申請での予約を開始しています。SNSの活用、関係機関へのPR協力依頼等、効果的な広報や事業の啓発に取り組みます。

反映内容 27

○たかなわ子どもコミュニティカレッジ

高輪地区内の3大学と連携して、地区内の児童館等で子どもを対象に大学の知的、人的資源や専門性を生かしたプログラムを実施し、子どもが楽しく学び遊べる機会を提供します。

反映内容 28

○たかなわ子どもコミュニティカレッジ

高輪地区内の3大学と連携して、地区内の児童館等で子どもを対象に大学の知的、人的資源や専門性を生かしたプログラムを実施し、子どもが楽しく学び遊べる機会を提供します。

○チャレンジコミュニティ大学、チャレンジコミュニティ・クラブ

チャレンジコミュニティ・クラブが実施している「昔遊び継承活動」など、小学校と連携した高齢者と子どもの交流を支援します。

3 関連計画等一覧

政策分野	分類	名称等	内容
かがやくまち	街づくり	港区まちづくりマスタープラン 計画期間 平成 29 年度からおおむね 20 年後	都市計画に関する基本的な方針を示す港区の街づくり分野の最上位の計画です。港区における今後のまちづくりの“道しるべ”となり、区民、企業等、行政がまちの将来像を共有するためのよりどころとなるものです。
		港区緑と水の総合計画 計画期間 令和 3 年度～令和 12 年度	緑地の保全と緑化の目標や施策、都市公園の整備や管理の方針など、さらには水循環系も含めた、港区の緑とオープンスペース、水に関する総合的な計画です。
		港区総合交通計画 計画期間 令和 5 年度～令和 14 年度	持続可能な交通手段を確保するための地域交通に関する新たな方針を示すとともに、地域交通や新たなモビリティ、MaaS等の新たな取組を推進していくための交通に関する総合的な計画です。
		港区自転車交通環境整備計画 計画期間 令和 4 年度～令和 13 年度	自転車等駐車場の整備や自転車シェアリングの推進、自転車活用の推進、自転車通行空間の整備の推進などをめざした、自転車に関する総合的な計画です。
		港区自転車通行空間整備計画 計画期間 令和 5 年度～令和 14 年度	自転車だけではなく、歩行者、自動車など道路を利用する全ての人が一層安全・安心で快適に通行できる環境を整備することを目的とし、自転車通行空間と通行環境の整備を進めるための計画です。
		港区交通安全計画 計画期間 令和 3 年度～令和 7 年度	交通事故など交通災害から区民の生命を守り、安全で快適な暮らしを確保するため、交通安全対策の総合的かつ計画的な推進を図るための計画です。
	防災・危機管理	港区地域防災計画 計画期間—	区及び地域における防災関係機関がその全機能を有効に発揮して、その所掌に係る震災予防・震災応急対策や震災復興を計画的に実施することにより、区民の生命や身体、財産を災害から保護することを目的とした計画です。
		港区生活安全行動計画 計画期間 令和 6 年度～令和 8 年度	防犯、防火などの生活安全の観点から区を取り巻く課題を示し、今後の方向性と取組を具体的に明らかにするアクションプランです。
	環境・リサイクル	港区環境基本計画 計画期間 令和 3 年度～令和 8 年度	環境分野に関する取組の基本的な方向性を示す計画であり、「港区地球温暖化対策地域推進計画」「港区環境率先実行計画」「港区生物多様性地域戦略」「港区気候変動適応計画」「港区環境教育等行動計画」を包含しています。

※関連計画等の詳細は右の二次元コードからご確認いただけます。





政策分野	分類	名称等	内容
にぎわうまち	産業・地域振興	港区国際化推進プラン 計画期間 令和3年度～令和8年度	国籍や民族が異なる人々が文化的違いを認め合いながら、一人ひとりの人権を尊重し、地域社会の一員としてともに考え、行動し、支え合う「多文化共生社会」の実現をめざす計画です。
		港区産業振興プラン 計画期間 令和3年度～令和8年度	これからの港区の産業のあるべき姿と、その実現に向けた施策を反映するとともに、社会経済情勢の変化を的確に把握し、区内中小企業の発展、地域経済の一層の活性化の実現を目的とした計画です。
		港区観光振興プラン 計画期間 令和6年度～令和8年度	都市観光のあり方や観光事業の体系的整理、推進体制、経済効果等を検討し、観光振興による商店街や中小企業、商業と産業の活性化をめざす基本的な方向性を示す計画です。
		港区文化芸術振興プラン 計画期間 令和3年度～令和8年度	「多様な人と文化が共生し文化芸術を通じて皆の幸せをめざす世界に開かれた『文化の港』を将来像とし、誰もが文化芸術を通じて心ゆたかで潤いのある生活を送ることができる社会をめざす計画です。

政策分野	分類	名称等	内容
はぐくむまち	保健・福祉	港区地域保健福祉計画 計画期間 令和3年度～令和8年度	地域における高齢者の福祉、障害者の福祉、児童福祉、その他の福祉の各分野の共通的な事項や、健康づくり・保健に関する事項等の地域保健福祉施策を総合的に定めた計画です。「港区高齢者保健福祉計画」「港区障害者計画」など、関係する計画を一体的に改定・策定するものです。
	子ども・子育て	港区子ども・子育て支援事業計画 計画期間 令和2年度～令和6年度	幼児期の教育・保育、子育て支援のニーズを把握し、幼稚園・保育園及び地域子ども・子育て支援事業等の提供体制や質の確保を計画的に推進することを目的とした計画です。
	教育	港区生涯学習推進計画 計画期間 令和3年度～令和8年度	区における生涯学習を推進する体制を整えるとともに、全ての人の学びの意欲に応え、学習の成果を生かせるよう自主的な学習支援に取り組むための基本的な考え方や施策を示した計画です。

※関連計画等の詳細は右の二次元コードからご確認いただけます。



政策分野	分類	名称等	内容
実現をめざして	デジタル化	港区DX推進計画 計画期間 令和3年度～令和8年度	区民生活に関わるデジタル環境の変化に的確に対応するとともに、港区基本計画で示された目標の実現に向けて、DXの視点から施策の方向性を示す計画です。
	人権・男女平等	港区男女平等参画行動計画 計画期間 令和3年度～令和8年度	あらゆる分野・施策に男女平等参画・女性活躍の視点を反映させ、全ての人々が性別等にとらわれず自分らしくゆたかに生きることのできる男女平等参画社会の実現に向けた計画です。

※関連計画等の詳細は右の二次元コードからご確認いただけます。





港区平和都市宣言

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちも真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいに満ちたまちづくりに努めています。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生まれ育つ子どもたちに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が『非核三原則』を堅持することを求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、心から平和の願いをこめて港区が平和都市であることを宣言します。

昭和 60 年 8 月 15 日

港 区

区 の 木



ハナミズキ

区 の 花



アジサイ



バラ



港区のマークは、昭和24年7月30日に制定しました。旧芝・麻布・赤坂の3区を一丸とし、その象徴として港区の頭文字である「み」を力強く、図案化したものです。

▶ 表紙の写真



刊行物発行番号 2023205-2235

港区基本計画 高輪地区版計画書

令和5(2023)年度 改定版

令和6(2024)年3月 発行

発行・編集：港区高輪地区総合支所協働推進課

港区高輪一丁目16番25号

TEL 03-5421-7611 (代表)

FAX 03-5421-7626

<https://www.city.minato.tokyo.jp/>





港区高輪地区総合支所

MINATO CITY TAKANAWA REGIONAL CITY OFFICE

